人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

2025年度 中間決算説明会

[2025年9月期]



© じゅうろくアプリス

2025年11月27日

東証プライム・名証プレミア（7380）

目次

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

01 | 2025年度 中間決算

連結決算サマリー	6
主要グループ会社 決算サマリー	7
連結コア業務純益	8
資金利益・貸出金利回り・預金等利回り	9
役務取引等利益	10
経費・修正OHR	11
自己資本比率・ROE	12
有価証券	13
与信関係費用・不良債権残高	14
預金等・貸出金	15
個人預金　年齢別増減	16
業績予想	17
配当予想	18



※　当社は2021年10月1日設立のため、十六FG連結の2021年9月期以前の計数は、参考として十六銀行を親会社とする十六銀行連結決算の計数を記載しています。

※　当資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

02 | 企業価値向上に向けた取組み

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応	20
第2次中期経営計画の計数目標に対する進捗状況	21
長期ビジョン・第2次中期経営計画の計数目標見直し	22
2026年3月期 業績予想に基づく円貨バランスシート	23
第2次中期経営計画 最終年度の円貨バランスシート	24-25
連結ROEの水準	26
株主還元の充実	27
政策投資株式の縮減	28
当社グループの歩み（第2次中期経営計画）	29
当社グループの成長戦略	30
りそなグループとの協業（異業種との連携・マーケットインアプローチ）	31-32
ソフトバンクとの協業（異業種との連携・トランスフォーメーション）	33
女性活躍推進と人的資本経営（グループ総合力・ヒューマンイノベーション）	34
地域活性化への取組み（グループ総合力・地域プロデュース）	35

03 | サステナビリティへの取組み

サステナビリティKPIの進捗状況	37
地域経済の活性化	38
地域社会の持続的発展	39
環境保全と気候変動対策	40
多様な人材の活躍推進	41
ガバナンスの高度化	42

Summary

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

01｜2025年度 中間決算

- ◆ 十六FG連結、十六銀行ともに、中間期として**過去最高の経常利益を計上**
- ◆ 2021年以降の新設会社の貢献もあり、銀行を除くグループ会社の収益が前年同期比＋2億67百万円と**グループ会社収益力は向上**
- ◆ 十六FG連結で**自己資本比率は11.53%と中計目標の11%超以上で推移**
- ◆ 中間配当は前年同期比20円増配の100円、期末配当は100円を予定し、**年間配当予想は200円**と**7期連続増配**を見込む

02｜企業価値向上に向けた取組み

- ◆ 長期ビジョンおよび第2次中期経営計画における**利益目標を上方修正**し、収益性・効率性・健全性のさらなる向上を目指す
- ◆ 自己株式を50万株・総額30億円を上限に取得することを決定し、2021年の当社設立以降、累計250万株の取得を予定
- ◆ りそなグループとの協業でリリースした「じゅうろくアプリ」は、**40万ユーザーを突破**
- ◆ ソフトバンクとの協業では、**生成AI活用により業務生産性を向上**

03｜サステナビリティへの取組み

- ◆ 2022年5月に設定した「サステナビリティKPI」は、グループ各社の連携した取組みから**いずれの項目も順調に進捗**
- ◆ 設立3期目となるNOBUNAGAサクセションは経営承継に関する相談件数が1,500件超え、アドバイザリー契約も100件超えと積極的に活動
- ◆ 企業版ふるさと納税マッチングサービス「CoLoRs（カラーズ）」「ITEMs（アイテムズ）」は提携自治体も増え、**寄附総額が4億4,000万円を突破**
- ◆ 2025年7月には、**TNFD提言に基づく開示を実施**し、2025年9月には本提言の採用者**「TNFD Adopter」に登録**

トピックス

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

業績予想修正 期末配当増配

2026年3月期 業績予想の見直し・期末配当金の増配 →P17・18

- ◆ 十六銀行で資金利益が予想を上回る見込みであることなどから**2026年3月期の通期業績予想を上方修正**
- ◆ 2026年3月期の**経常利益予想を**315億円から**348億円、連結当期純利益予想を**215億円から**235億円に上方修正**
- ◆ 期末配当予想を1株当たり**10円増配の100円**とし、通期の年間配当予想は**1株当たり200円と7期連続増配**を見込む

中長期目標 上方修正

長期ビジョン・第2次中期経営計画 計数目標の見直し →P22-25

- ◆ 長期ビジョンの計数目標に掲げる**連結当期純利益（2032年度）を**当初の300億円以上から**400億円以上に上方修正**
- ◆ 第2次中期経営計画における**連結当期純利益（2027年度）を**当初の200億円以上から**280億円以上に上方修正**
- ◆ 第2次中期経営計画における**連結ROEを**当初の5%以上から**6%以上に上方修正**

アプリ 40万ユーザー 突破

「じゅうろくアプリ」40万ユーザー突破 振込件数は着実に増加 →P31

- ◆ りそなグループとの協業により、2025年4月にリリースした「じゅうろくアプリ」は**7か月半で40万ユーザーを突破**
- ◆ アプリ導入効果により、**個人振込件数は着実に伸長**し、**前年同月比較において、いずれの月も増加**して推移
- ◆ アジャイル開発により、**順次、機能追加を実施**し、**11月には投資信託関連機能**を追加するなど更なる利用拡大を目指す

01｜2025年度 中間決算

02｜企業価値向上に向けた取組み

～資本コストや株価を意識した経営の実現～
～第2次中期経営計画の進捗状況～
～長期ビジョン・第2次中期経営計画の見直し～

03｜サステナビリティへの取組み



連結決算サマリー

十六FG連結

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

◆ 連結コア業務粗利益は、銀行の資金利益の増加などにより、前年同期比＋38億円の417億円となりました。
◆ 経常利益は連結コア業務純益の増加に加え、与信関係費用減少などにより、前年同期比＋9億円の168億円と、中間期で過去最高益となりました。

十六FG連結 （単位：億円）	24/9	25/9	増減	増減率	26/3 業績予想	進捗率
連結コア業務粗利益	379	① 417	38	9.8%	845	49.3%
資金利益	273	301	28	9.9%	598	50.3%
役務取引等利益	83	95	12	14.9%	195	48.9%
その他業務利益（除く国債等債券損益）	22	20	△ 2	△9.6%	51	39.8%
経費	221	② 235	14	6.3%	478	49.2%
うち人件費	115	119	4	3.0%	-	-
うち物件費	90	100	10	11.5%	-	-
連結コア業務純益	158	③ 181	23	14.8%	367	49.4%
国債等債券損益	△ 22	△ 109	△ 87	384.8%	-	-
連結実質業務純益	135	72	△ 63	△ 46.8	-	-
与信関係費用	24	5	△ 19	△ 78.2	-	-
株式等関係損益	43	97	54	123.6%	-	-
経常利益 過去最高	159	④ 168	9	5.5%	348	48.3%
親会社株主に帰属する中間純利益	103	⑤ 114	11	9.7%	235	48.5%
自己資本比率（%）	10.87	11.53	0.66			
ROE（%）	4.75	5.22	0.47			

① 連結コア業務粗利益　417億円　進捗率49.3%

- 資金利益および役務取引等利益が増加し、前年同期比＋38億円の417億円

② 経費　235億円　進捗率 49.2%

- 人件費は退職給付費用の増加やアプリ獲得に伴う祝金などで4億円増加
- 物件費はアプリ関連の広告宣伝費増加や戦略的なDX投資で10億円増加
- 経費全体では前年同期比＋14億円の235億円

増加率 14.8%

③ 連結コア業務純益　181億円　進捗率 49.4%

- 連結コア業務粗利益の増加により、前年同期比＋23億円の181億円

増加率　5.5%

④ 経常利益 過去最高　168億円　進捗率 48.3%

- 経常利益は前年同期比＋9億円の168億円と中間期で過去最高

増加率　9.7%

⑤ 親会社株主に帰属する中間純利益　114億円　進捗率 48.5%

- 親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比+11億円の114億円

主要グループ会社 決算サマリー

十六銀行単体 | グループ会社

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

◆ 十六銀行では、コア業務純益が資金利益および役務取引等利益の増加を要因に増加し、経常利益は中間期で過去最高となりました。
◆ 銀行を除くグループ会社10社の連結決算に寄与した中間純利益は、前年同期比＋2億67百万円の12億79百万円となりました。

【十六銀行単体】

（億円）

十六銀行単体	24/9	25/9	増減	増減率	26/3 業績予想	進捗率
コア業務粗利益	327	363	36	10.9%	-	-
資金利益	276	303	27	9.8%	-	-
役務取引等利益	53	60	7	13.0%	-	-
その他業務利益（除く国債等債券損益）	△ 2	△ 0	2	-	-	-
経費	188	203	15	7.8%	-	-
うち人件費	89	93	4	5.0%	-	-
うち物件費	86	96	10	11.6%	-	-
コア業務純益	138	160	22	15.2%	328	48.7%
国債等債券損益	△ 22	△ 109	△ 87	384.8%	-	-
実質業務純益	116	50	△ 66	△56.5%	183	27.6%
与信関係費用	16	2	△ 14	△82.6%	25	11.7%
株式等関係損益	41	97	56	134.2%	-	-
経常利益 過去最高	146	149	3	2.0%	316	47.3%
中間純利益	98	104	6	6.1%	220	47.5%

自己資本比率(%)	9.69	10.32	0.63
顧客向けサービス業務利益	62	76	14

【銀行以外のグループ会社】

（百万円）

十六リース	24/9	25/9	増減
売上高	14,321	13,910	△ 411
経常利益	200	452	252
中間純利益	145	319	174
連結決算に寄与した中間純利益	145	319	174

十六TT証券	24/9	25/9	増減
売上高	1,840	1,590	△ 250
経常利益	609	401	△ 208
中間純利益	417	272	△ 145
連結決算に寄与した中間純利益	250	163	△ 87

十六カード	24/9	25/9	増減
売上高	1,504	1,533	29
経常利益	171	157	△ 14
中間純利益	114	109	△ 5
連結決算に寄与した中間純利益	114	109	△ 5

NOBUNAGA サクセション	24/9	25/9	増減
売上高	112	641	529
経常利益	△ 9	421	430
中間純利益	△ 9	279	288
連結決算に寄与した中間純利益	△ 5	167	172

銀行以外のグループ会社10社合計	24/9	25/9	増減
売上高	20,301	20,099	△ 202
経常利益	1,709	2,177	468
中間純利益	1,171	1,504	333
連結決算に寄与した中間純利益	1,012	1,279	267

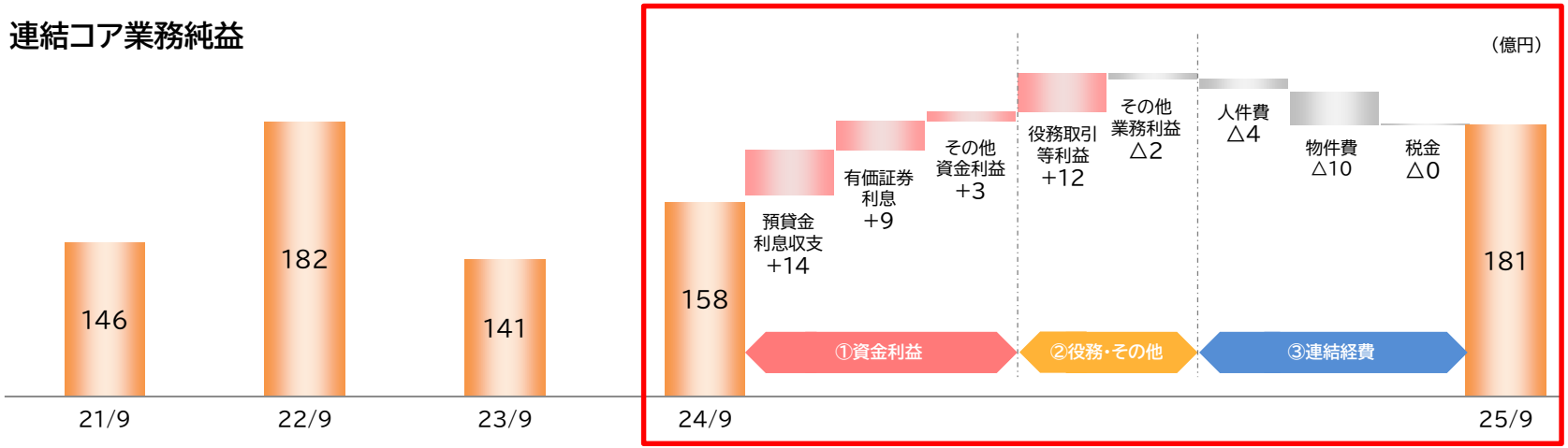
連結コア業務純益

十六FG連結

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

◆ 連結コア業務純益は、十六銀行の資金利益と十六銀行・グループ会社の役務取引等利益の増加から、前年同期比＋23億円の181億円となりました。

■ 連結コア業務純益



■ 連結コア業務粗利益と経費

（億円）	21/9	22/9	23/9	24/9	25/9	増減	増減率
連結コア業務粗利益	378	403	364	379	417	38	9.8%
資金利益	266	266	264	273	301	28	
役務取引等利益	84	92	93	83	95	12	
その他業務利益(※)	26	45	7	22	20	△2	
経費	231	220	222	221	235	14	6.3%
連結コア業務純益	146	182	141	158	181	23	14.8%

（※）国債等債券損益を除く

① 資金利益　前年同期比＋28億円

十六銀行＋27億円 ››› 9スライド

② 役務・その他　前年同期比＋10億円

十六銀行＋7億円、他グループ会社＋5億円 ››› 10スライド

③ 連結経費　前年同期比＋14億円

十六銀行人件費＋4億円、物件費＋10億円 ››› 11スライド

資金利益・貸出金利回り・預金等利回り

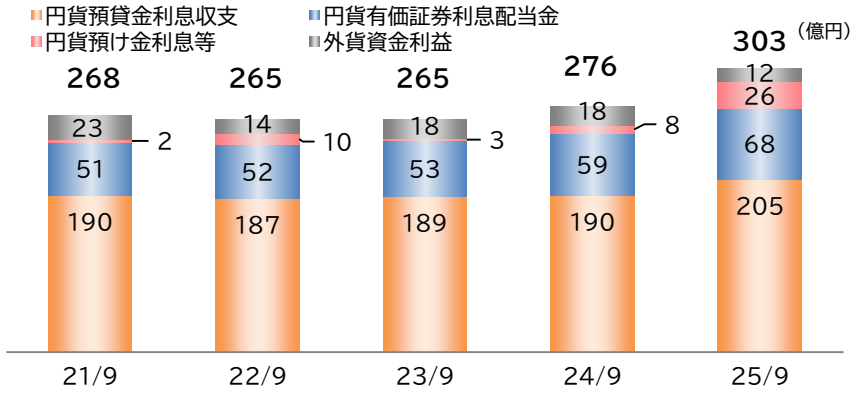
十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

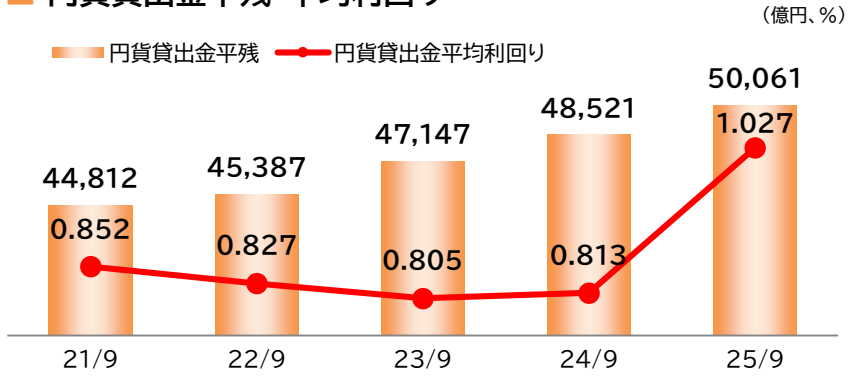
◆ 資金利益は、円貨貸出金利息や円貨有価証券利息配当金の増加、日銀預け金利息の増加により、前年同期比＋27億円の303億円となりました。
◆ 円貨貸出金平残は、5兆61億円と堅調に推移し、円貨貸出金平均利回りは前年同期比＋0.214ポイントの1.027%と上昇しました。

資金利益

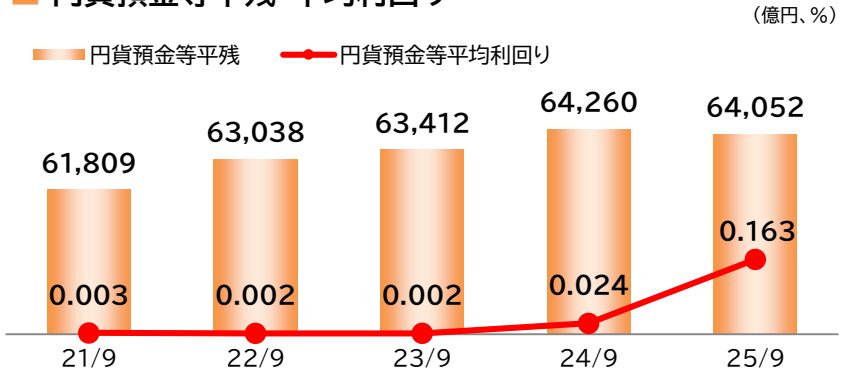
（億円）	21/9	22/9	23/9	24/9(A)	25/9(B)	増減(B-A)
資金利益	268	265	265	276	303	27
円貨資金利益	245	250	247	258	290	32
円貨預貸金利息収支	190	187	189	190	205	15
円貨貸出金利息（収入）	191	188	190	197	257	60
円貨預金利息（支出）	1	0	0	7	52	45
円貨有価証券利息配当金	51	52	53	59	68	9
円貨預け金利息等	2	10	3	8	26	18
外貨資金利益	23	14	18	18	12	△6



円貨貸出金平残・平均利回り



円貨預金等平残・平均利回り



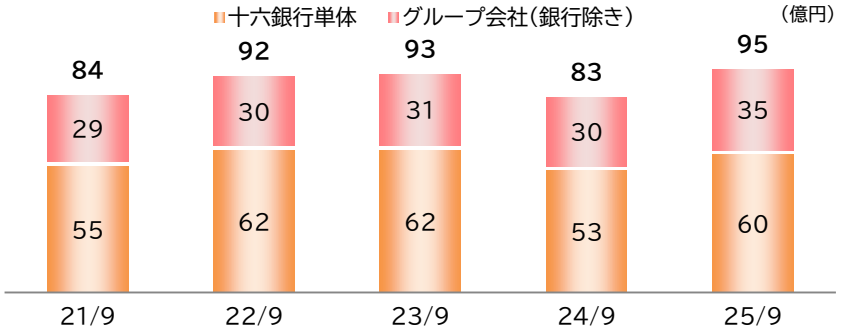
役務取引等利益

十六FG連結 | 十六銀行単体

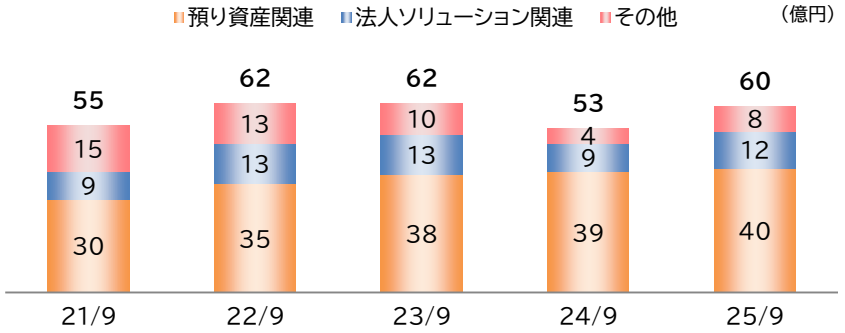
人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

◆ 十六FG連結の役務取引等利益は銀行での好調な投信販売や、その他グループ会社の収益力向上により前年同期比+12億円の95億円となりました。

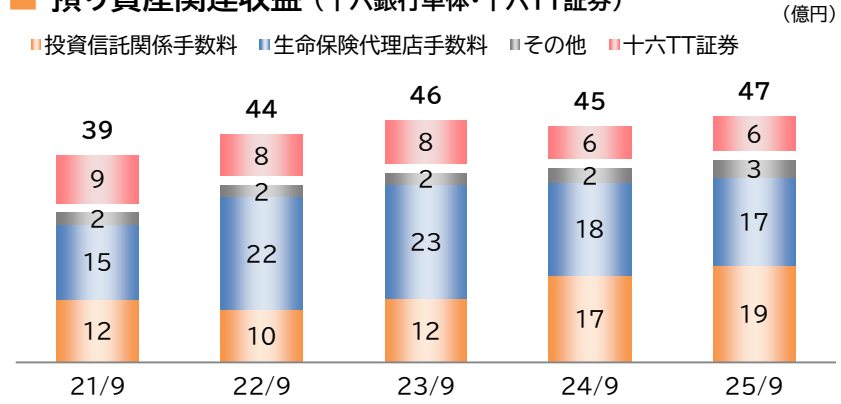
役務取引等利益（十六FG連結）



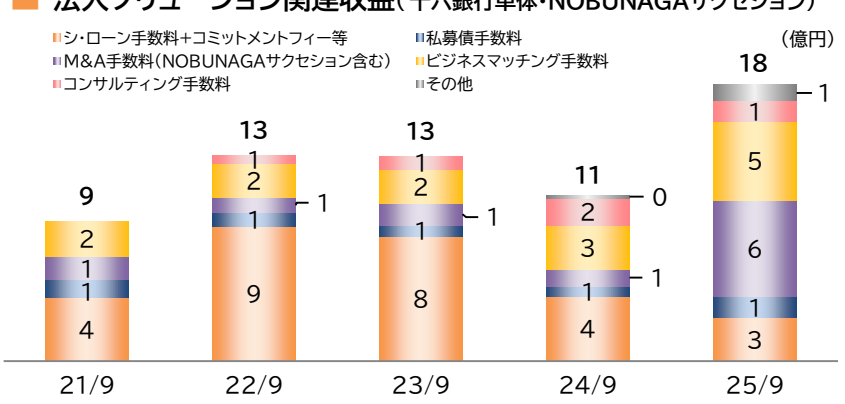
役務取引等利益（十六銀行単体）



預り資産関連収益（十六銀行単体・十六TT証券）



法人ソリューション関連収益（十六銀行単体・NOBUNAGAサクセション）



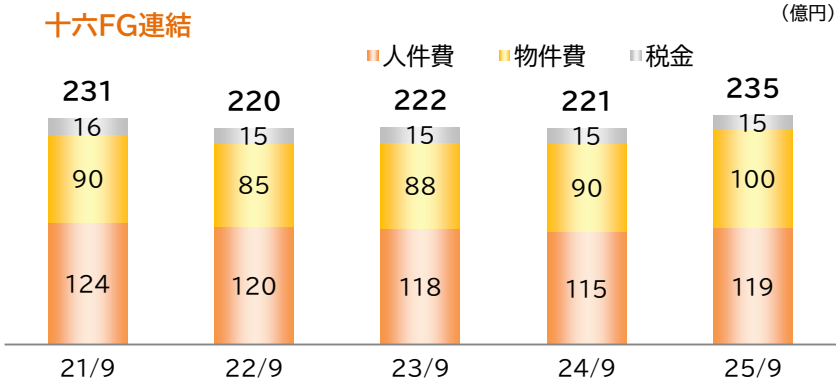
経費・修正OHR

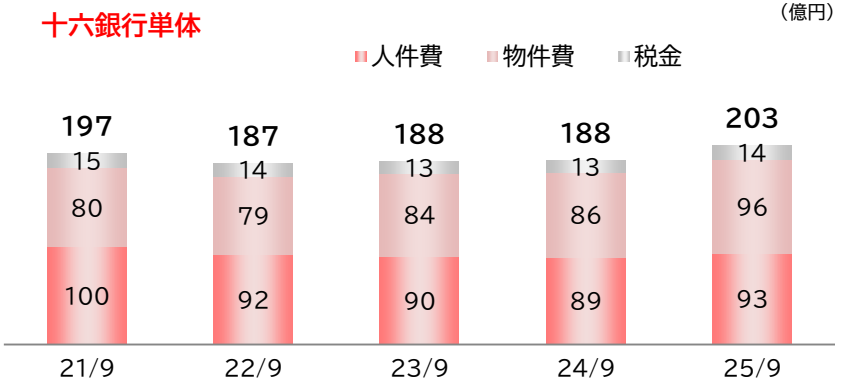
十六FG連結　十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

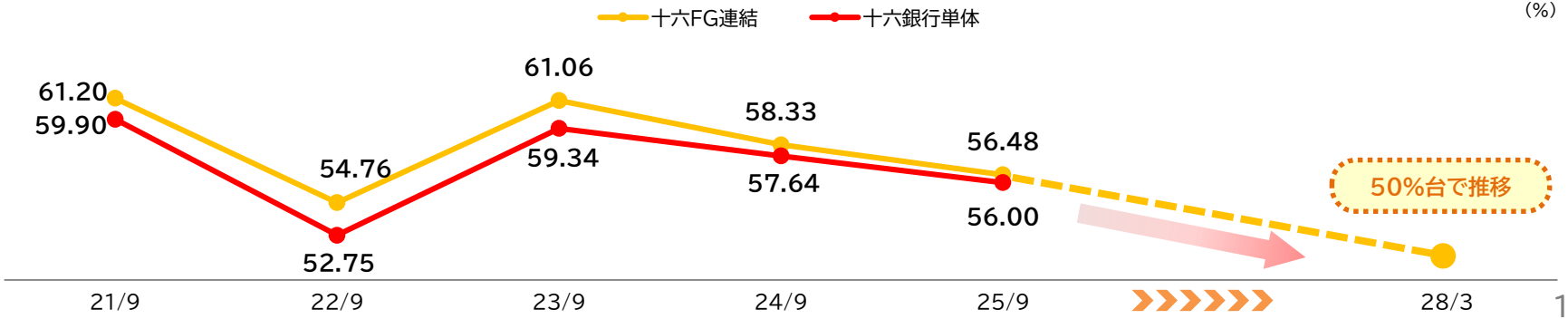
◆ 人件費は退職給付費用の増加やアプリ獲得に伴う祝金などで4億円増加、物件費はアプリ推進に伴う広告宣伝費や戦略的なDX投資で10億円増加しました。
◆ 修正OHRは、十六FG連結で56.48%、十六銀行単体で56.00%となり、50%台で推移しています。

経費





修正OHR



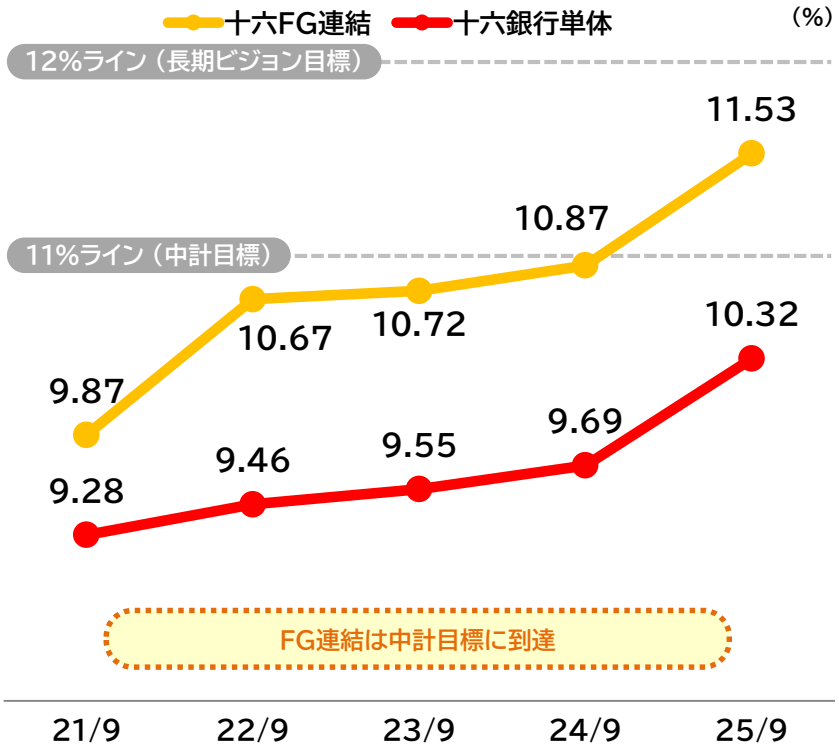
自己資本比率・ROE

十六FG連結　十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

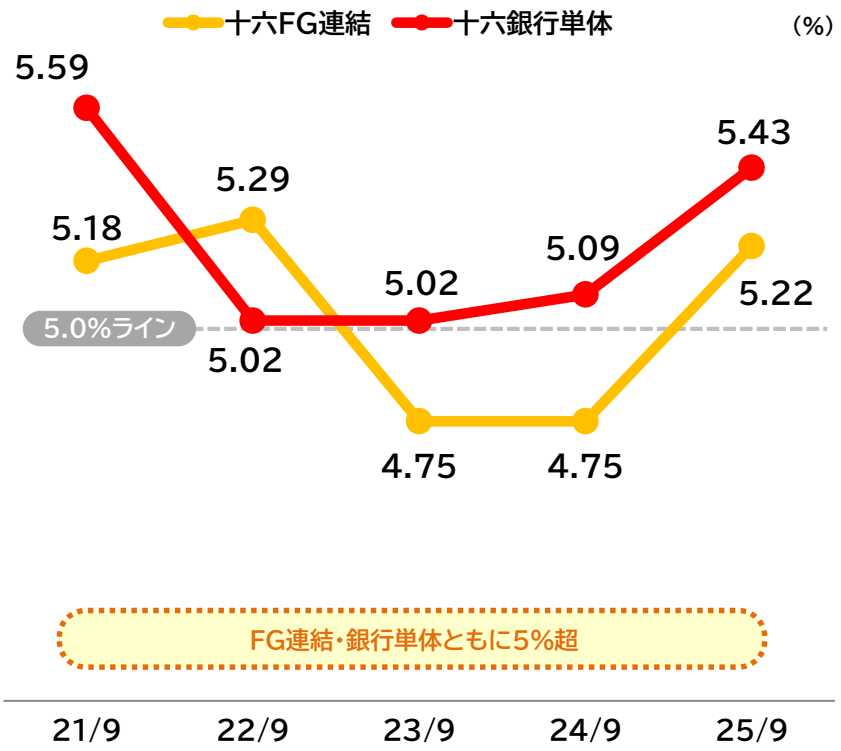
- 自己資本比率は十六FG連結は11.53%、十六銀行単体は10.32%と健全な水準を維持しています。
- ROEは収益性向上や政策投資株式の縮減などにより、十六FG連結で5.22%、十六銀行単体で5.43%となりました。

自己資本比率



FG連結は中計目標に到達

ROE



FG連結・銀行単体ともに5%超

有価証券

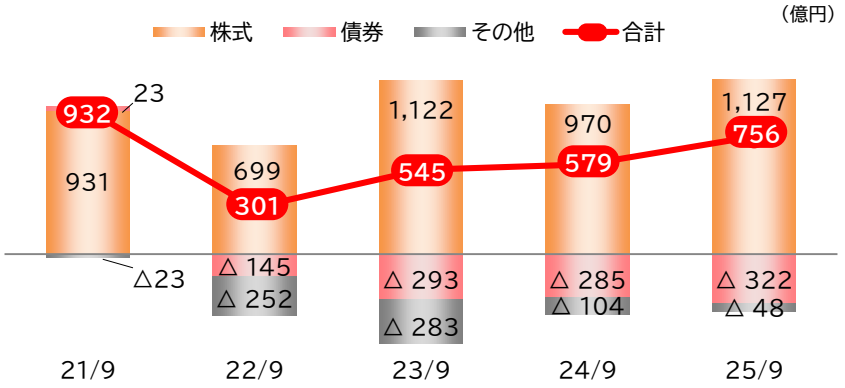
十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

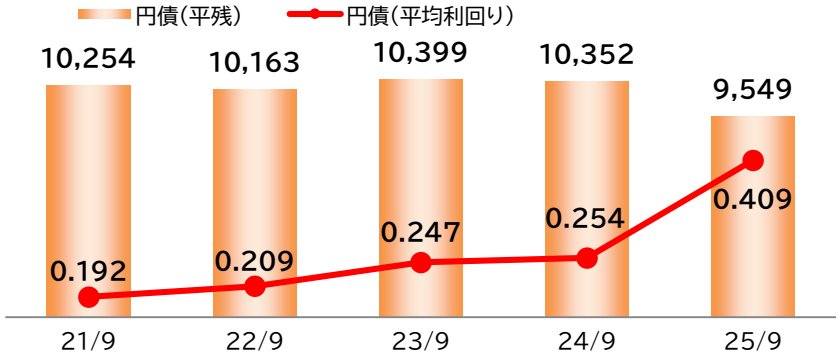
◆ 有価証券評価損益は、市況好調から株式が増加した一方、低利回り債の入替え等で債券が減少し、前年同期比+177億円の756億円となりました。
◆ 円債の入替えにより、円債平均利回りは前年同期比＋0.155ポイントの0.409%へ改善しました。

有価証券評価損益

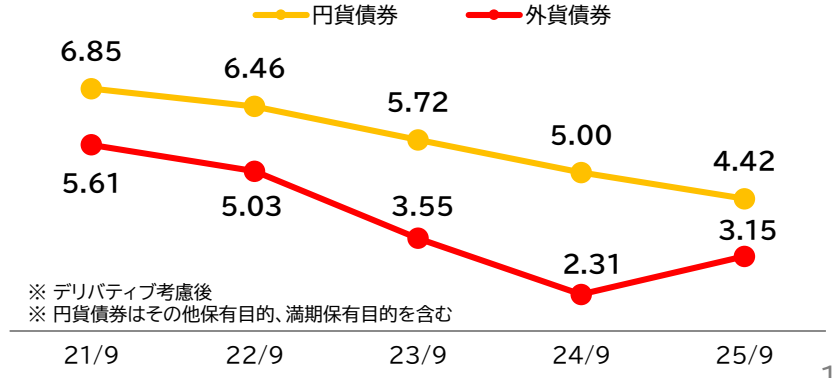
（億円）	21/9	22/9	23/9	24/9(A)	25/9(B)	増減(B-A)
株式	931	699	1,122	970	1,127	157
債券	23	△145	△293	△285	△322	△37
その他	△23	△252	△283	△104	△48	56
うち外債	△23	△160	△176	△16	△25	△9
うち投資信託	0	△91	△106	△88	△22	66
合　計	932	301	545	579	756	177



円債（平残・平均利回り）



債券デュレーション



与信関係費用・不良債権残高

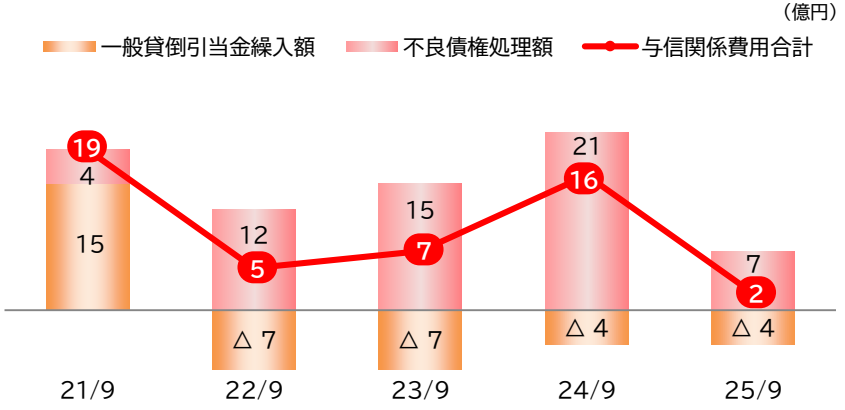
十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

◆ 与信関係費用は、前年同期比△14億円の2億円と低位で推移しています。
◆ 不良債権比率は、前年同期比△0.15ポイントの1.11%と改善し、過去最低となりました。

与信関係費用

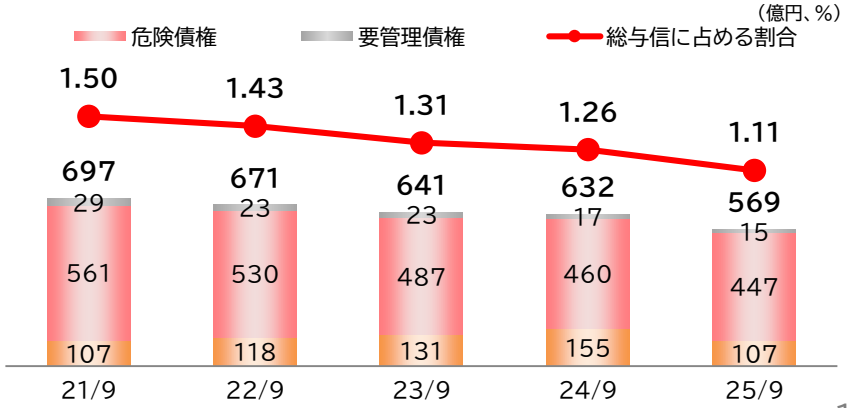
(億円)	21/9	22/9	23/9	24/9(A)	25/9(B)	増減(B-A)
①一般貸倒引当金繰入額	15	△7	△7	△4	△4	0
②不良債権処理額	4	12	15	21	7	△14
うち個別貸倒引当金繰入額	3	12	14	18	5	△13
③貸倒引当金戻入益	-	-	-	-	-	-
④償却債権取立益	-	-	-	-	-	-
与信関係費用①+②−③−④	19	5	7	16	2	△14



不良債権残高

(億円)	21/9	22/9	23/9	24/9(A)	25/9(B)	増減(B-A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	107	118	131	155	107	△48
危険債権	561	530	487	460	447	△13
要管理債権	29	23	23	17	15	△2
合 計	697	671	641	632	569	△63
総与信に占める割合(%)	1.50	1.43	1.31	1.26	1.11	△0.15

過去最低



預金等・貸出金

十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

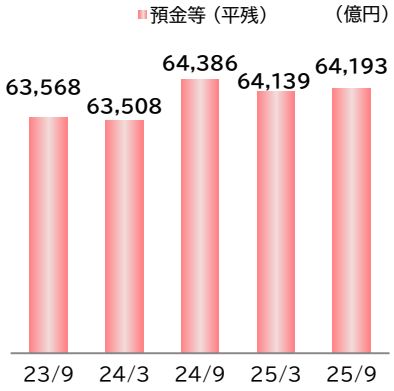
◆ 貸出金(平残)は、住宅ローンが順調に推移し、前期比＋852億円の5兆127億円となりました。
◆ 貸出金と預金等の利回り差は2025年9月(四半期ベース)で前年同期比＋0.119ポイント改善し、0.901%になりました。

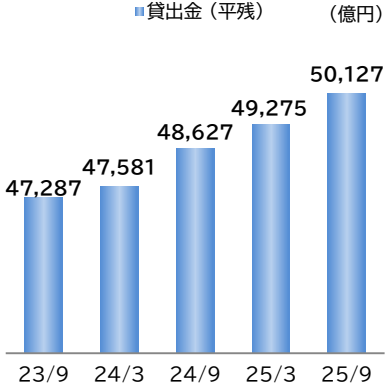
預金等(平残・末残)

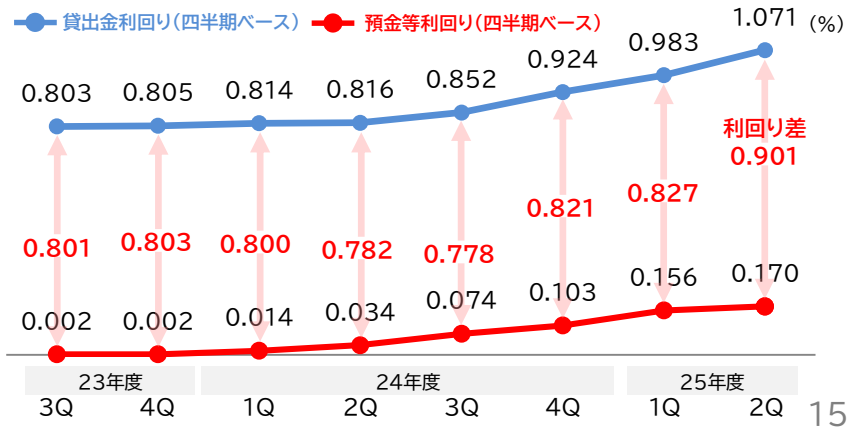
(億円)	23/9	24/3	24/9	25/3(A)	25/9(B)	増減(B-A)
預金等(平残)	63,568	63,508	64,386	64,139	64,193	54
うち個人	43,776	43,890	44,118	44,176	44,010	△166
うち法人	17,243	17,118	17,709	17,562	17,566	4
うち公金・その他	2,548	2,499	2,558	2,400	2,616	216
預金等(末残)	63,646	64,403	64,505	64,068	63,694	△374
うち個人	43,896	44,052	44,089	44,071	43,870	△201
うち法人	17,190	17,885	18,102	17,722	17,323	△399
うち公金・その他	2,559	2,464	2,313	2,273	2,500	227

貸出金(平残・末残)

(億円)	23/9	24/3	24/9	25/3(A)	25/9(B)	増減(B-A)
貸出金(平残)	47,287	47,581	48,627	49,275	50,127	852
うち事業性	22,587	22,690	23,067	23,287	23,261	△26
うち消費者ローン	19,819	20,010	20,669	20,980	21,774	794
うち公金・その他	4,879	4,880	4,890	5,007	5,091	84
貸出金(末残)	47,842	48,704	49,210	50,327	50,298	△29
うち事業性	22,819	23,388	23,280	23,627	23,259	△368
うち消費者ローン	20,021	20,427	21,022	21,593	21,968	375
うち公金・その他	5,001	4,888	4,907	5,105	5,070	△35







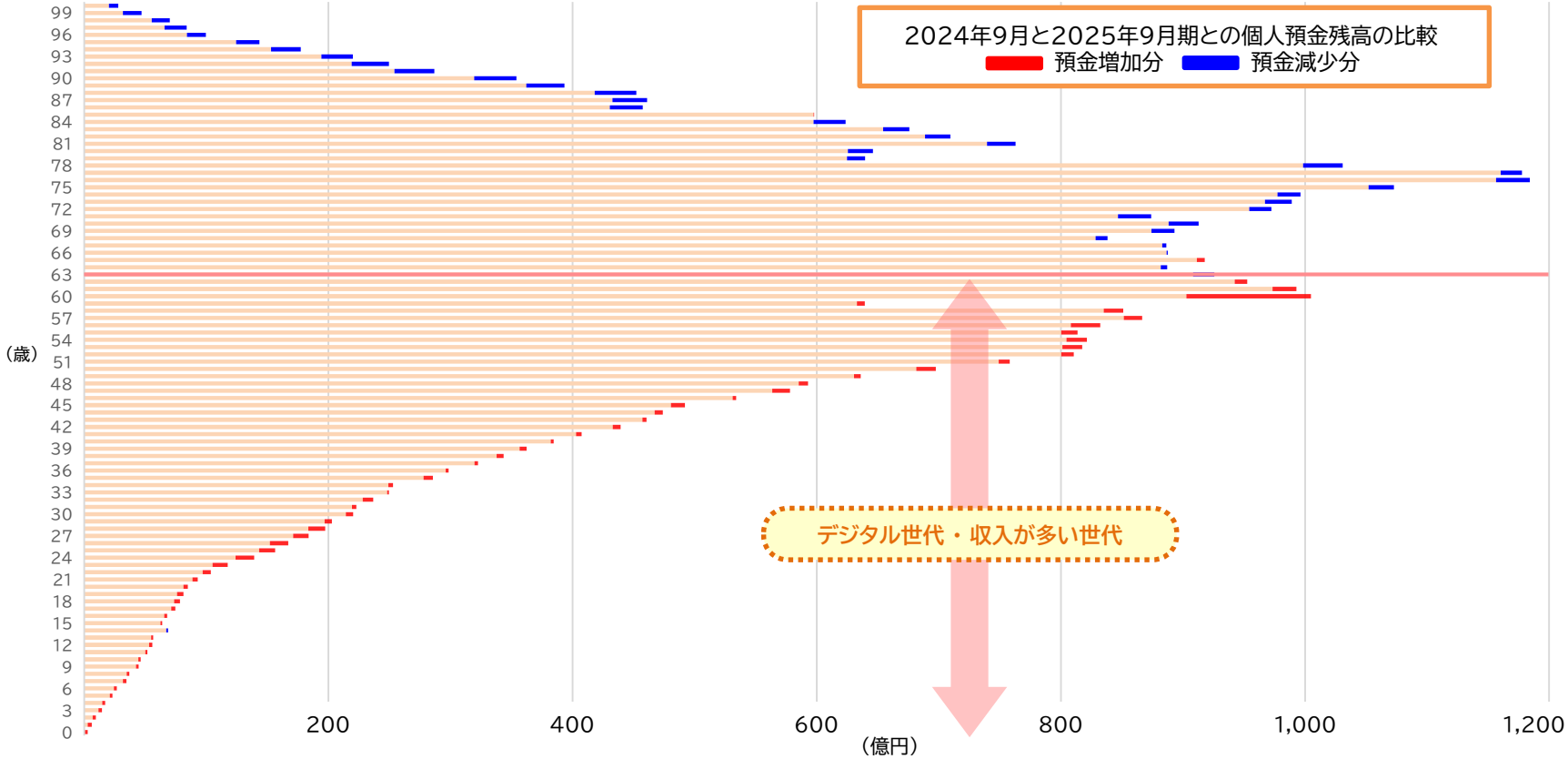
個人預金 年齢別増減

十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

◆ 年齢毎の個人預金については、0歳から60代前半までの幅広い層において預金の取込みが順調に推移しました。

■ 個人預金残高



業績予想

十六FG連結 | 十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

◆ 十六FG連結の通期業績予想は、資金利益・役務取引等利益の増加などから上方修正し、最終利益235億円と増益を見込みます。

■ 業績予想

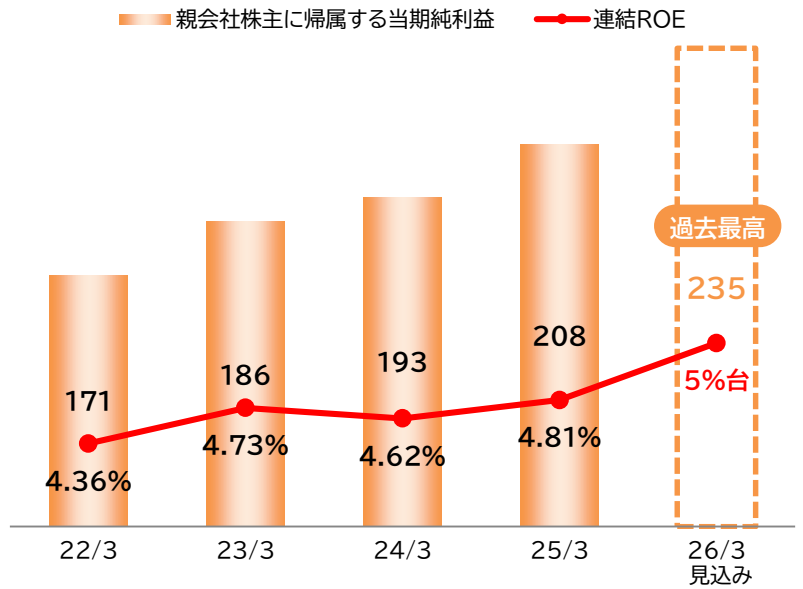
（億円）

十六FG連結	2025/3 実績	2026/3 予想		
		期初予想	修正後	（修正額）
連結コア業務粗利益	768	825	845	+20
連結コア業務純益	321	345	367	+22
経常利益	312	315	348	+33
親会社株主に帰属する当期純利益	208	215	235	+20

十六銀行単体	2025/3 実績	2026/3 予想		
		期初予想	修正後	（修正額）
コア業務純益	284	315	328	+13
実質業務純益	128	280	183	△97
経常利益	279	295	316	+21
当期純利益	209	210	220	+10

≪十六FG連結 当期純利益・ROEの推移≫

（億円）



- 連結の最終利益は過去最高の235億円を見込む
- 連結ROEは5%突破を見込む

配当予想

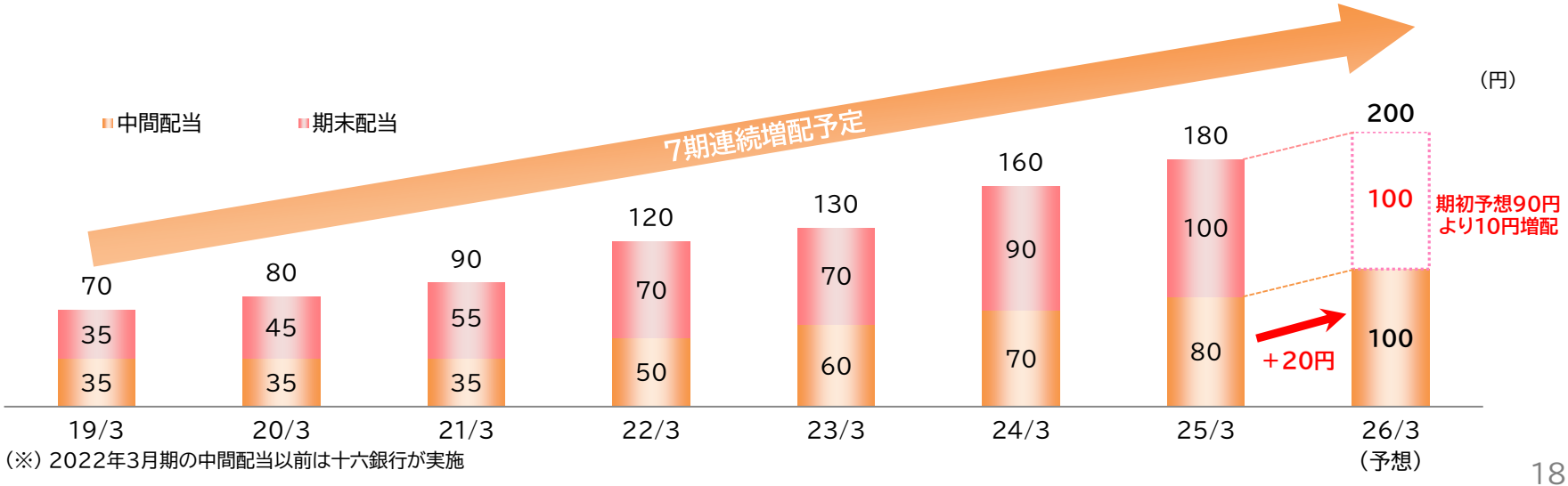
十六FG連結

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

◆ 2026年3月期の中間配当は、前年同期比20円増配の100円、期末配当は100円を予定し、年間配当予想は200円と7期連続増配を見込みます。

配当予想

	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3（予想）
年間配当	70円	80円	90円	120円	130円	160円	180円	（200円）
中間配当	35円	35円	35円	50円	60円	70円	80円	100円
期末配当	35円	45円	55円	70円	70円	90円	100円	（100円）



（※）2022年3月期の中間配当以前は十六銀行が実施

01｜2025年度 中間決算

02｜企業価値向上に向けた取組み

～資本コストや株価を意識した経営の実現～
～第2次中期経営計画の進捗状況～
～長期ビジョン・第2次中期経営計画の見直し～

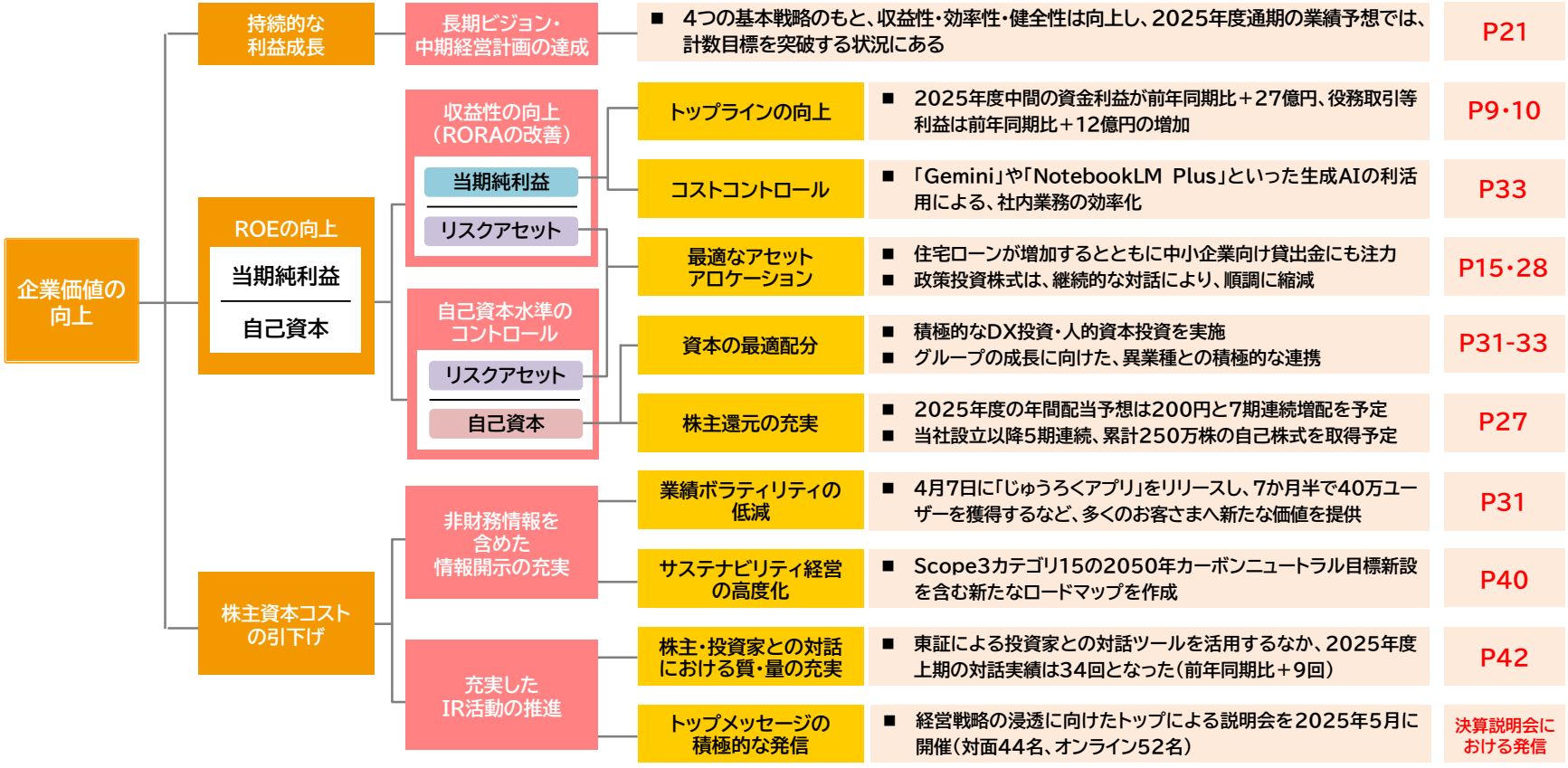
03｜サステナビリティへの取組み



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

◆ 企業価値の向上に向け、ロジックツリーをもとに「持続的な利益成長」「ROEの向上」「株主資本コストの引下げ」につながる取組みを実践しています。



第2次中期経営計画の計数目標に対する進捗状況

◆ グループの収益力が向上するなか、第2次中期経営計画の4つの計数目標に対する進捗状況は、いずれも順調に推移しています。

計数目標	2020/9	2021/9	2022/9	2023/9	2024/9	2025/9	2028/3 中期経営計画	2033/3 長期ビジョン
連結当期純利益（億円）	75億円	103億円	103億円	95億円	103億円	114億円	200億円以上	300億円以上
連結ROE（%）		5.18%	5.29%	4.75%	4.75%	5.22%	5%以上	
連結修正OHR（%）	69.72%	61.20%	54.76%	61.06%	58.33%	56.48%	50%台	
連結自己資本比率（%）	9.65%	9.87%	10.67%	10.72%	10.87%	11.53%	11%以上	12%以上

資金利益や役務取引等利益の改善により、収益性は向上

収益性・効率性の向上により、5%を突破

効率性の向上により、50%台に収束

内部留保の積み上げにより、健全性を確保

長期ビジョン・第2次中期経営計画の計数目標見直し

◆ 第2次中期経営計画の計数目標を前倒しで達成する見通しとなったことなどから、長期ビジョン・第2次中期経営計画の計数目標を見直します。

長期ビジョン 計数目標見直し

		≪2032年度目標（見直し前）≫	≪2032年度目標（見直し後）≫
2032年度目指す水準	連結当期純利益	300億円以上	400億円以上
	連結自己資本比率	12%以上	12%以上（変更なし）
マテリアリティ	サステナビリティKPI（10項目）		変更なし

第2次中期経営計画 計数目標見直し

		≪2027年度目標（見直し前）≫	≪2027年度目標（見直し後）≫
収益性	連結当期純利益	200億円以上	280億円以上
	連結ROE	5%以上	6%以上
効率性	連結修正OHR	50%台	50%台（変更なし）
健全性	連結自己資本比率	11%以上	11%以上（変更なし）

2026年3月期 業績予想に基づく円貨バランスシート

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

◆ 2026年3月期の通期業績予想に基づく、連結バランスシートは以下の通りとなります。

＜運用サイド＞

1 貸出金利息 ＋542億円
（円貨貸出金利回り1.07%）

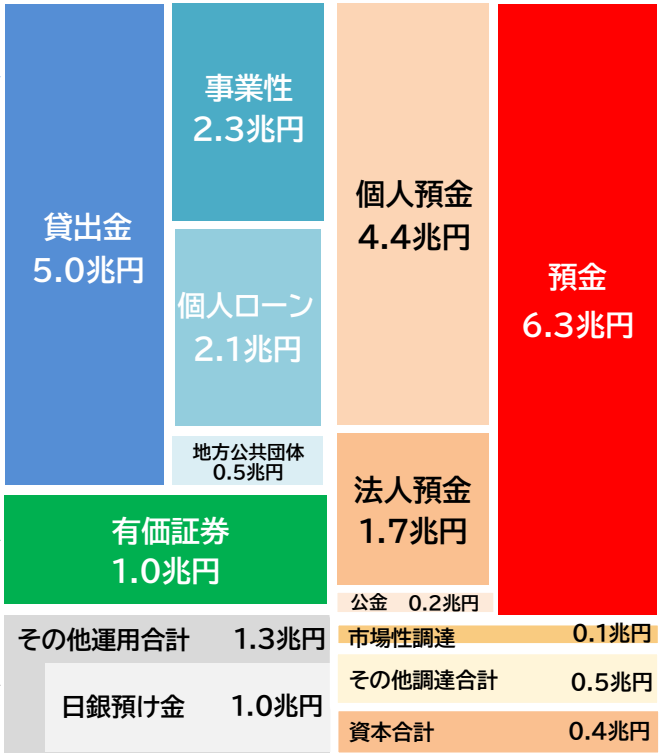
4 その他収益 ＋261億円
うち、グループ会社収益 ＋107億円
役務取引等利益 ＋126億円
外貨関連収益等 ＋28億円

3 有価証券利息配当金 ＋120億円
（円貨有価証券利回り1.08%）

5 日銀預け金利息 ＋30億円

連結バランスシート［2026年3月期 円貨平残ベース］

総資産7.4兆円（2026年3月期）



＜調達サイド＞

※利回りは通期ベース

2 預金利息 ▲108億円
（円貨預金等利回り0.17%）

6 連結経費 ▲478億円

運用サイド　調達サイド

1 ＋ 3 ＋ 4 ＋ 5 ＋ 2 ＋ 6

＝ 連結コア業務純益 367億円

第2次中期経営計画 最終年度の円貨バランスシート

◆ 金利のある世界でグループの一層の成長を目指し、最も効果的なバランスシートの構築をはかっていきます。

＜運用サイド＞

中小企業向け貸出金の増加

- ✓ 営業の質の向上による収益性の高い貸出金への取組み
- ✓ 総合金融サービス機能のフル活用
- ✓ ソリューションメニューの拡充

住宅ローンの増加

- ✓ 業者工作の強化による効率的な案件獲得
- ✓ WEB化等による非対面営業の拡充
- ✓ 「AI-OCR」の活用による業務の効率化

有価証券運用の向上

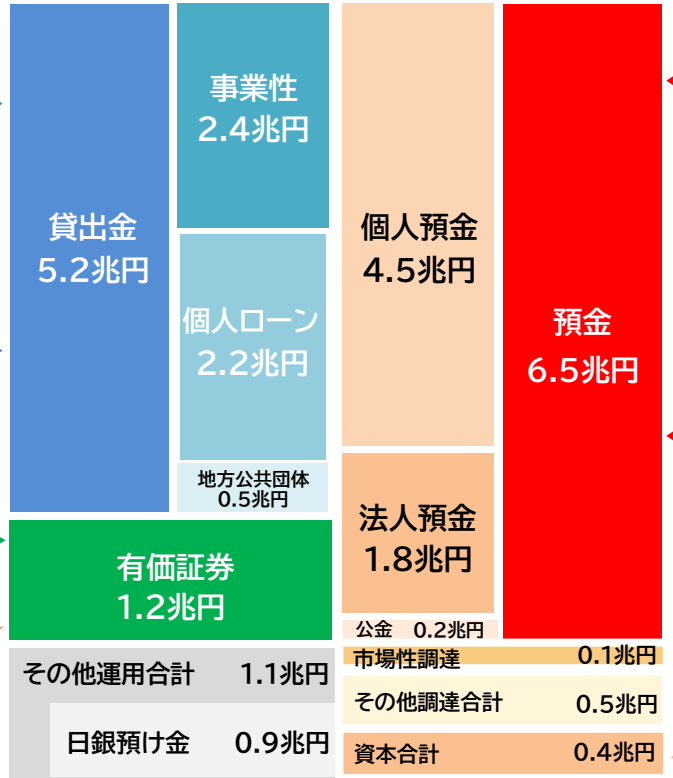
- ✓ 含み損を抱える円債の入れ替え等による、円債ポートフォリオの利回り向上

政策投資株式の縮減

- ✓ 2028年3月末までに連結純資産比率で15%未満とする縮減への取組み

連結バランスシート[2028年3月期 円貨平残ベース]

総資産7.5兆円(2028年3月期)



＜調達サイド＞

個人預金を中心とした預金の増加

- ✓ 「じゅうろくアプリ」による個人預金の取込み
- ✓ 給振や年金、住宅ローンやクレジットカード、デビットカードの積極推進による「じゅうろくアプリ」との相乗効果の発現
- ✓ 資産承継支援による預金流出の防止

お客さまへの資産形成支援

- ✓ 「十六銀行ファンドラップ」による資産形成層の裾野拡大に向けた取組み
- ✓ NISA口座獲得と口座稼働率アップの推進
- ✓ 商品ラインナップの拡充

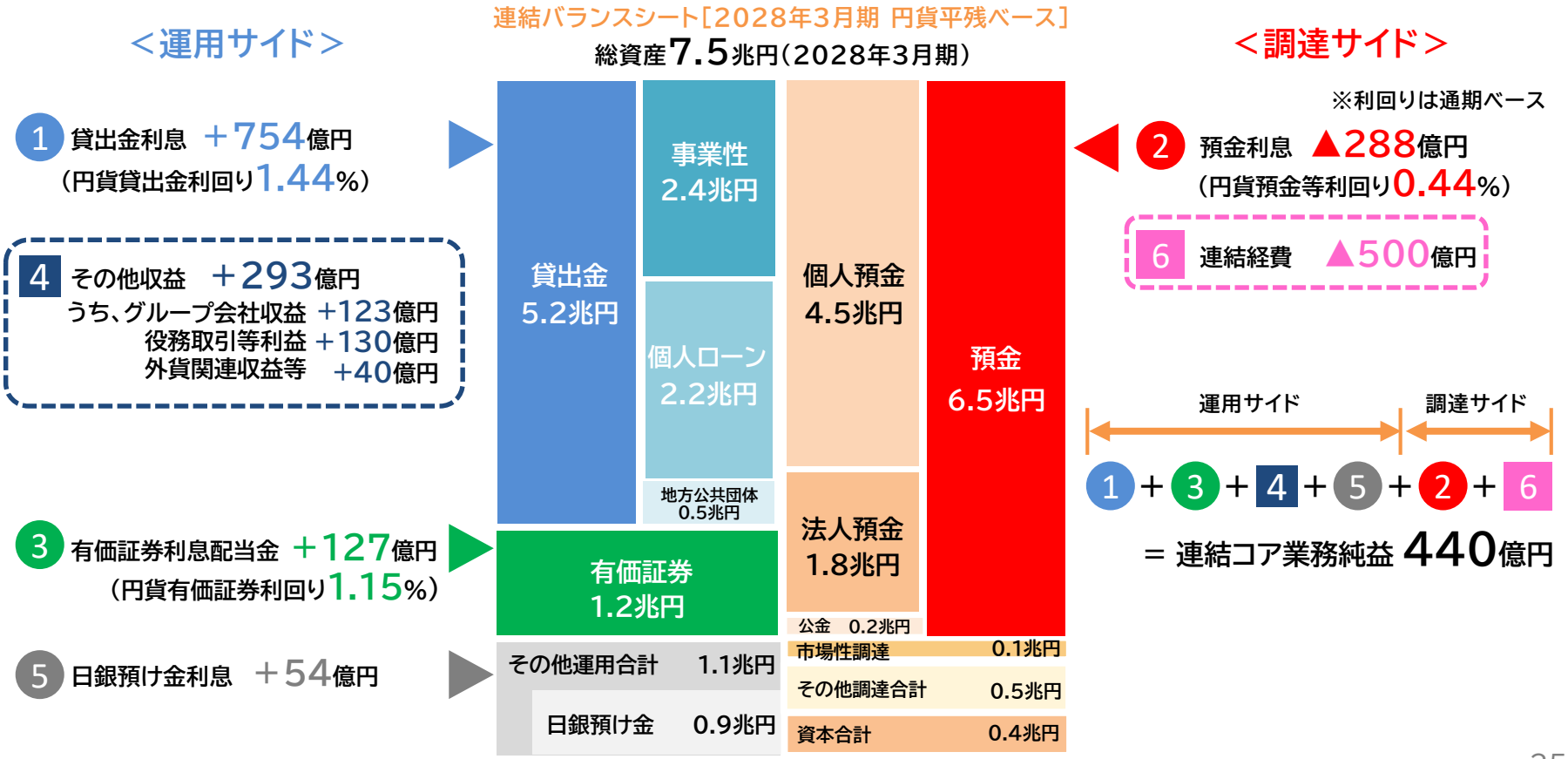
ROE向上に向けた資本活用

- ✓ 積極的なDX投資・人的資本投資の実施
- ✓ 増配等による株主還元の充実
- ✓ EPS向上に向けた、機動的な自己株式取得

第2次中期経営計画 最終年度の円貨バランスシート

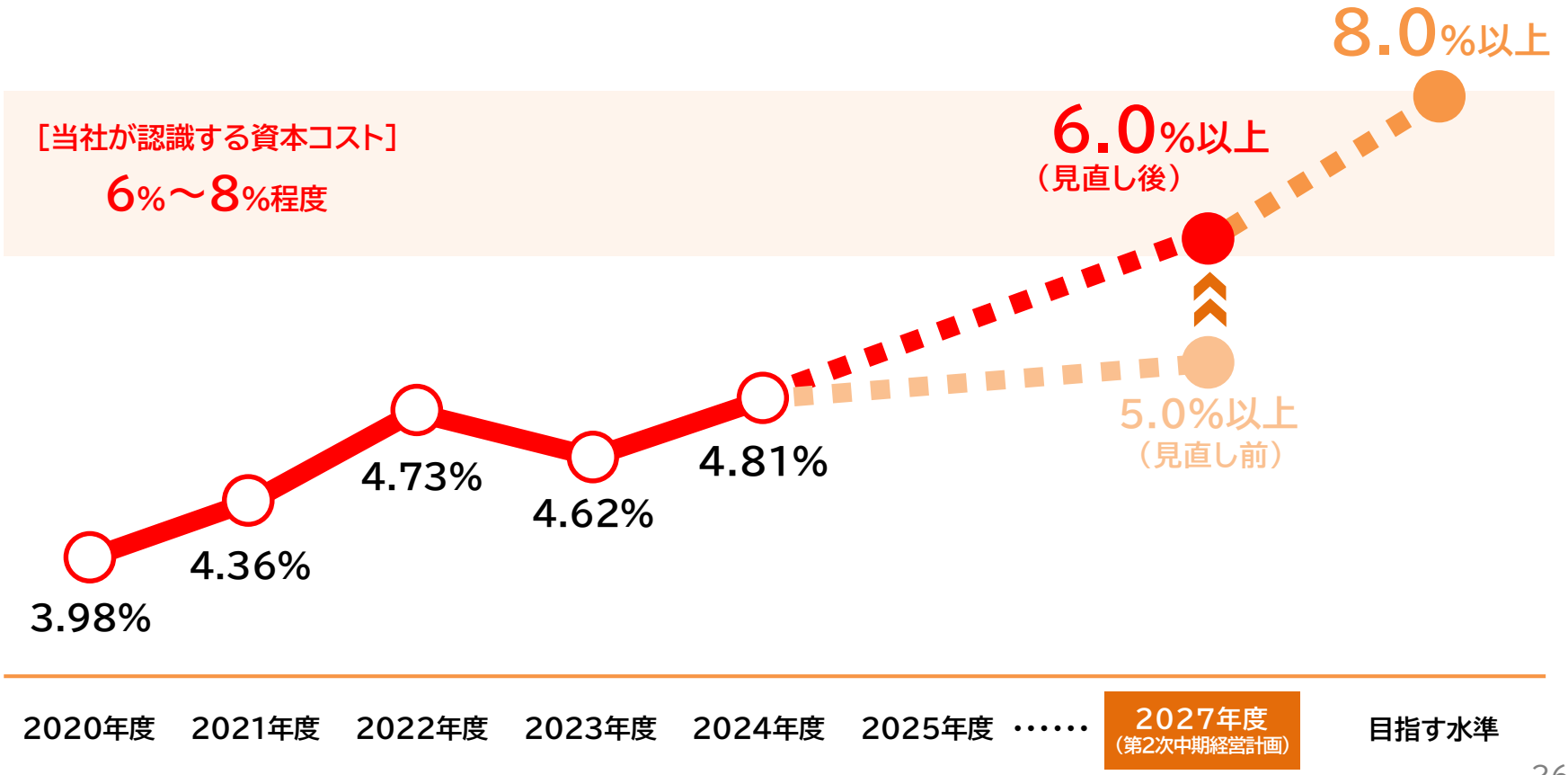
人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

◆ 資金利益を中心にトップラインを向上させ、新たに設定した計数目標の達成を目指してまいります。



連結ROEの水準

◆ 収益力の向上に加え、政策投資株式の縮減等による資本の効率化により、2027年度に6.0%以上の水準を目指してまいります。



株主還元の充実

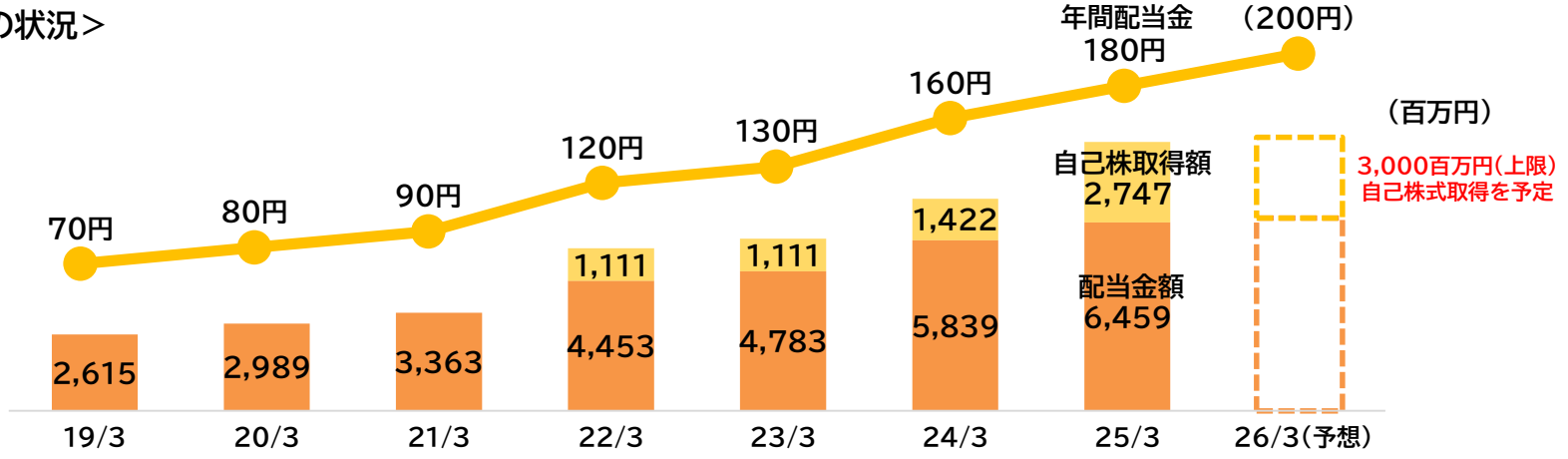
人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

◆ 2026年3月期は年間配当予想を200円とし、7期連続増配を予定するなか、配当性向においても株主還元方針目安の30%以上を目指します。
◆ 自己株式取得は、50万株・30億円を上限に取得を予定しており、当社設立以降5期連続での実施となります。

株 主 還 元 方 針

利益配分につきましては、金融取引を巡るリスクが多様化するなかにあって財務体質の一層の向上に留意しつつ、安定的な配当を継続して実施することを基本方針とするとともに、経営環境や利益水準などを総合的に勘案し、配当性向30%以上を目安として、還元内容を決定してまいります。

＜株主還元の状況＞



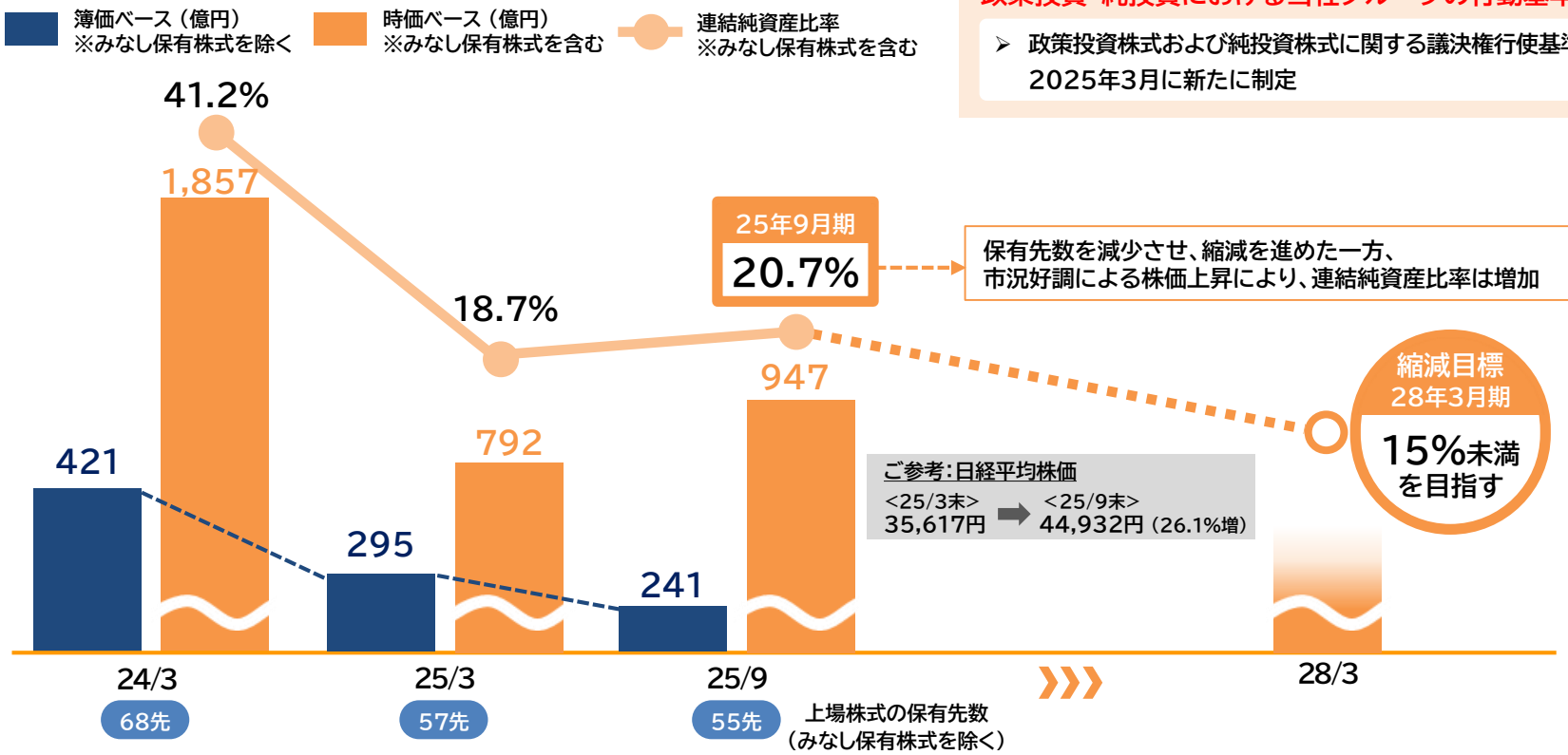
配当性向	24.5%	23.2%	22.8%	26.0%	25.7%	30.1%	31.1%	-
総還元性向	24.5%	23.2%	22.8%	32.3%	31.6%	37.5%	44.1%	-
親会社株主利益	106億円	128億円	147億円	171億円	186億円	193億円	208億円	(235億円)

( )数字は予想

政策投資株式の縮減

◆ 2025年9月末の政策投資株式の対連結純資産比率は株価上昇により20.7%と増加、引き続き15%未満を目指し計画的に縮減を実施します。

＜政策投資株式の推移＞



政策投資・純投資における当社グループの行動基準

- 政策投資株式および純投資株式に関する議決権行使基準を2025年3月に新たに制定

当社グループの歩み（第2次中期経営計画）

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

2021年10月 十六FG設立

2023年4月

2025年度 | 2026年度 | 2027年度

第1次経営計画

長期ビジョン「一歩先を行き、いつも地域の力になる」（～2032年度）

第2次中期経営計画（～2027年度） 2年度目終了 / 残り3年度

事業領域の拡大・生産性の向上

異業種との連携（主な事例）
- 東海東京フィナンシャル・ホールディングス
- 株式会社 電算システムホールディングス
- SoftBank
- 日本M&Aセンターホールディングス
- りそなグループ

新会社の設立（2021.4～）
- NOBUNAGA キャピタルビレッジ
- 十六電算デジタルサービス
- カンダまちおこし
- NOBUNAGAサクセション

4つの基本戦略

【トランスフォーメーション戦略】
デジタルで変える

【ヒューマンイノベーション戦略】
人材づくり

【マーケットインアプローチ戦略】
営業を変える

【地域プロデュース戦略】
地域を変える

飛躍への第一歩
- ✓ 貸出金利回りの向上
- ✓ 粘着性預金の獲得
- ✓ 有価証券運用の向上
- ✓ 非金利収益の増加

10月 創立150周年



低金利環境への打ち手を実行

拡大した事業領域での基盤づくり

具体的成果をあげ、新たな成長ステップへ

当社グループの成長戦略

外部環境

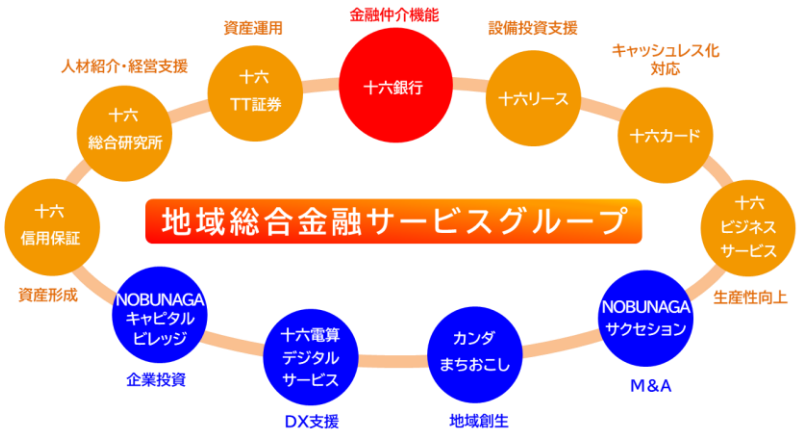
地政学リスク・AI活用・GX推進・インフレ・金利正常化

構造課題

人口減少・人材不足・経営承継

いかなる環境変化にも備えられるよう変革を実施

グループ総合力



異業種との連携

主な事例

証券	東海東京フィナンシャル・ホールディングス
デジタル化	株式会社 電算システムホールディングス
DX	SoftBank
事業承継	日本M&Aセンターホールディングス
リテール	りそなグループ

りそなグループとの協業

異業種との連携　マーケットインアプローチ

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

2024年2月　リテール分野における戦略的業務提携を開始　十六フィナンシャルグループ　りそなグループ

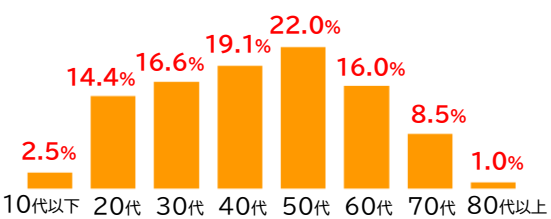
じゅうろくアプリ 100万ユーザーに向けて

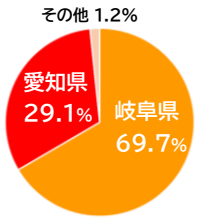
- リリースから7か月半で40万ユーザーを獲得し、計画通りに推移



- 幅広い年齢層で利用が拡大し、地元のお客さまへ浸透

<年代別・地域別ユーザー割合（2025年11月3日 時点）>

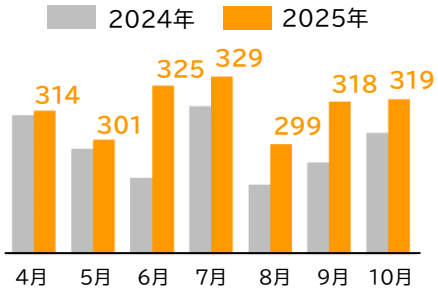




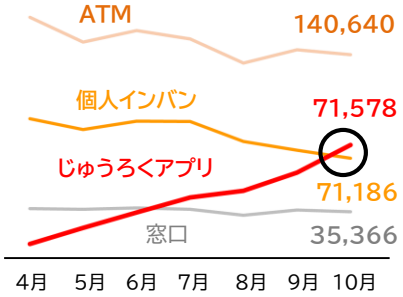
アプリ導入効果（振込件数の推移）

- アプリリリース以降、個人振込件数全体は、前年同月比で毎月増加
- チャネル別では、じゅうろくアプリが伸長し、2025年10月に個人インバン超え

<個人の振込件数全体（千件/単月）>



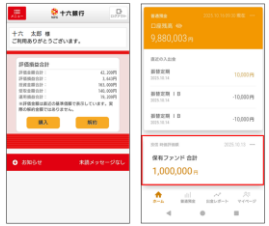
<チャネル別振込件数（単位：件）>



アプリ新機能の追加

- 2025年11月、「じゅうろくアプリ」に投資信託の取引や帳票の閲覧等ができる機能を追加

◆ 投資信託の購入・解約
◆ じゅうろく投信積立の契約・変更等の取引
◆ 運用損益の確認、取引報告書等の帳票閲覧



りそなグループとの協業

異業種との連携　マーケットインアプローチ

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

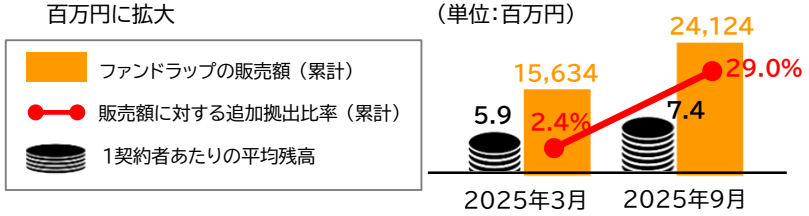
2024年2月　リテール分野における戦略的業務提携を開始　十六フィナンシャルグループ　りそなグループ

ファンドラップの拡大

- 「十六銀行ファンドラップ」の販売実績は好調に推移し、資産形成支援に寄与
- 2025年9月末時点で、契約件数3,377件、預り資産残高249億円
- 販売額に対する追加拠出率は14.5%へ伸長し、買い増しが進行
- 1契約者あたりの平均残高も7.4百万円に拡大

契約件数	預り資産残高
3,377件	249億円

（2024年11月から2025年9月末までの累計値）



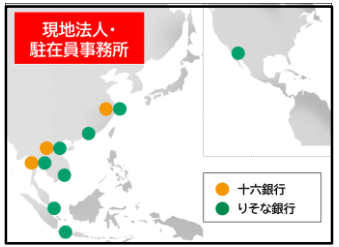
金融教育カリキュラムの充実

- 2025年8月、十六銀行とりそなアセットマネジメントと連携して、「のぶながキッズマネーアカデミー2025」を共催
- 小学校高学年の児童などが、お金に関する知識やふるさと岐阜について楽しく学習



海外進出支援分野での連携

- 2025年8月、十六銀行とりそな銀行が「国際業務における相互連携に関する基本合意書」を締結
- 両行のネットワークやノウハウを相互に活用し、互いの強みを融合することで、より質の高い海外ビジネス支援体制を構築



銀行業務支援ツール「Data Ignition」の導入

- 2025年10月、十六銀行はりそなホールディングス・りそな銀行などが共同開発した銀行業務支援ツール「Data Ignition」の導入に向けた契約を締結
- 金融商品に対するお客さまのニーズをスコア化して予測できるシステム
- りそなグループにおいて高い効果を実現したAIに必要なデータを読み込ませることにより、ニーズの高いお客さまへ優先的にアプローチすることが可能



ソフトバンクとの協業

異業種との連携　トランスフォーメーション

十六フィナンシャルグループ　人と、地域と、未来をむすぶ

2022年5月　DX推進に関する協業を開始　十六フィナンシャルグループ　SoftBank

ソフトバンクの全面協力による社内DXの深化

- 2022年5月　DX推進に関する協業を開始
- 2023年9月　Google Workspace 銀行で導入
- 2024年2月　Google Workspace グループ全社へ導入拡大
- 2025年3月　生成AI Gemini の活用開始
- 2025年6月　生成AI NotebookLM 活用開始
- 2025年9月　業務用スマホで Gemini 利用開始

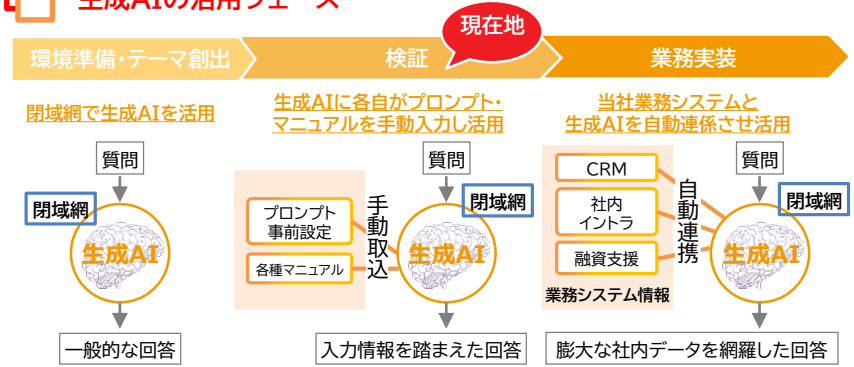
全社員が利用可能な環境を構築

GWS・生成AIの活用に向けた取組み

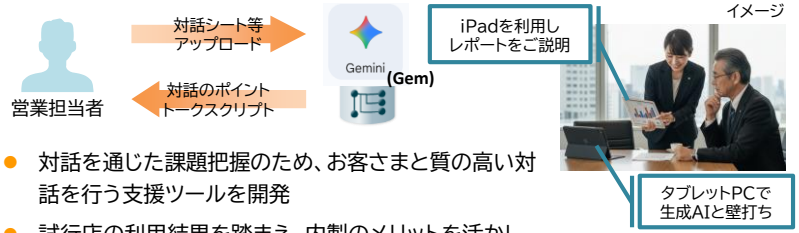
- 全社員が新たなツールであるGWS、生成AIを積極的に活用することで生産性の最大化を目指す
- 業務における生成AIの具体的な活用事例を、GWSのチャット機能を使用し、全社員に配信し、GWS・生成AIの活用率を向上
- 業務マニュアルや人事関連の申請手続きなどをAI型チャットボットで検索できるよう変更し、有人対応の照会件数や対応時間の削減に貢献



生成AIの活用フェーズ



- 生成AIの活用段階を設定し、現在は検証フェーズを全社員で実施
- ソフトバンクの支援のもと早期に実装できる環境を実現し、収益力向上を目指す



- 対話を通じた課題把握のため、お客さまと質の高い対話を行う支援ツールを開発
- 試行店の利用結果を踏まえ、内製のメリットを活かした迅速なアップデートを目指す

女性活躍推進と人的資本経営

女性活躍推進とガバナンスの高度化

- 2025年度から、法人営業のスキル定着をはかるリスキリングプログラムを展開
- 次世代の女性リーダーの育成を積極的に行い、2025年9月における女性管理職比率は12.5%に向上

＜女性管理職比率＞

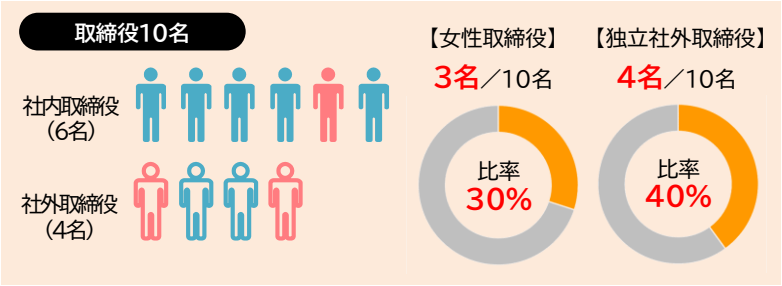
2024/9	2025/9	2030年度目標
10.2%	12.5%	20%

東海地区の地銀で初

- 2024年6月、プロパーの女性を当社の取締役執行役員に起用

十六銀行で初

- 2025年6月、グループ中核企業の十六銀行においても、プロパーの女性を取締役常務執行役員に起用



- 取締役に占める女性取締役の比率は30%、独立社外取締役は40%
- 取締役会を多様性と専門性を備えた構成とし、ガバナンスを高度化

異業種との人事交流

- 多様なバックグラウンドや知見を持つ人材の活躍を推進するため、外部との連携を通じた積極的な人事交流を実施

当社グループ ⟷

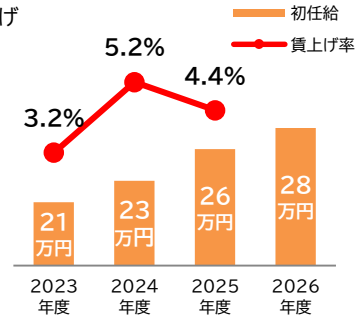
ソフトバンク	受　入 派　遣	5名 2名
STATION Ai	派　遣	1名
りそなホールディングス	派　遣	1名
東海東京フィナンシャル・ホールディングス	派　遣	2名

（2025年9月時点）

賃上げ・初任給引上げ・新卒採用

- 2025年7月に、平均3.6%のベースアップを実施
- 定期昇給分と合わせると、平均4.4%の賃上げ
- 2026年度入社の初任給は、現行より2万円増加の28万円へ引上げ
- 賃上げと初任給引上げは3年連続
- 新卒採用数（2026年度）は、2025年度150名（実績）を上回る157名が内定

2025年度 実績	2026年度 内定者
150名	157名



地域活性化への取組み

グループ総合力　地域プロデュース

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

新本社ビル「16FGオフィス＆パーク」起工式

- 2025年6月、建設地にて起工式を開催
- 新本社ビルは、150年の歩みを未来へとつなぐ象徴であり、次なるステージへの出発点
- 1階から3階にかけて、地域に開かれた共有空間を設け、地域のみなさまと共用する場として開放
- ビル内に設ける3つの大きな吹き抜け空間を利用し、1階と2階が一体となった立体的なランドスケープを形成
- コンセプトの異なる緑・光・水を整備するなど、美しく居心地の良い空間を創出



2023年　7月
岐阜市本庁舎跡活用事業優先交渉権者への選定を発表

2023年　8月
岐阜市と基本協定締結

2025年　6月
工事開始

2027年度
竣工（予定）

創立150周年





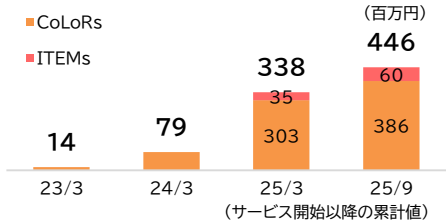
【NOBUNAGAサクセション】第13回M&Aバンクオブザイヤー～地域創生賞～受賞

- 2025年4月、日本M&Aセンター主催の「第13回M&Aバンクオブザイヤー」に選出
- 地域の活性化・創生につながる優れた取組みを行った1社に授与される「地域創生賞」を受賞
- 地域企業の円滑な経営承継を支援し、地域経済の活性化と持続可能な社会の実現に貢献



【カンダまちおこし】企業版ふるさと納税の寄附仲介金額が4億円を突破

- 2025年9月、企業版ふるさと納税マッチングサービス「CoLoRs（カラーズ）」（金銭寄附型、2022年2月開始）と、「ITEMs（アイテムズ）」（物品寄附型、2024年10月開始）の両サービスを通じた寄附仲介金額の累計が4億円を突破
- 本サービスを通じて企業と地方の公民連携を促進し、持続可能な社会の実現をめざす「地方創生2.0（※）」を牽引



（※）デジタル技術の活用や、地域と多様に関わる「関係人口」の創出などを通じて、地域の持続的な発展を目指す新しい地域創生の考え方

01｜2025年度 中間決算

02｜企業価値向上に向けた取組み

～資本コストや株価を意識した経営の実現～
～第2次中期経営計画の進捗状況～
～長期ビジョン・第2次中期経営計画の見直し～

03｜サステナビリティへの取組み



サステナビリティKPIの進捗状況

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

◆ 2022年5月に設定した「サステナビリティKPI」は、いずれの項目も順調に進捗しています。

■ 2030年度までの目標

重点課題	項　目	数値目標	2025年9月実績（進捗率（※3））	
地域経済の活性化	サステナブルファイナンス実行額（うち環境分野）	2兆円（8,000億円）	（※1）7,850億円（2,967億円）	39.2% 37.0(%)
	グループ預り資産残高	5,500億円	5,894億円	107.1%
地域社会の持続的発展	ソーシャルインパクト投資	20億円	（※1）8.2億円	41.0%
	DX支援コンサルティング件数	3,000件	（※1）1,014件	33.8%
環境保全と気候変動対策	GHG排出量（2013年度比）	100%削減	（※2）77.2%削減	77.2%
	紙使用量（2019年度比）	50%削減	39.4%削減	78.8%
多様な人材の活躍推進	女性管理職比率	20%	12.5%	62.5%
	有給休暇取得率	80%	35.4%	44.2%

■ 継続的に取り組む目標

ガバナンスの高度化	危機発生時における初動対応訓練の実施	年2回以上	4回	200%
	投資家との対話	年10回以上	34回	340%

（※1）2022年4月からの累計値　（※2）2025年3月末実績

（※3）進捗率については、「2025年9月実績/2030年度目標」で計算

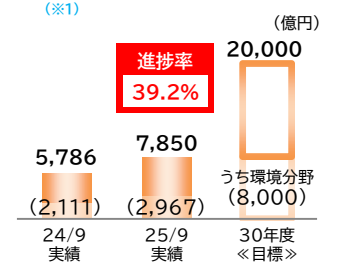
マテリアリティ　～地域経済の活性化～

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

◆ 2025年9月時点のサステナブルファイナンス実行額は、総額7,850億円となり、2030年度の目標比39.2%と順調に推移しています。
◆ 2025年9月のグループ預り資産残高は、5,894億円となり、2030年度の目標5,500億円を前倒しで突破しました。

サステナビリティKPI　サステナブルファイナンス実行額（2022年4月からの累計）(※1)

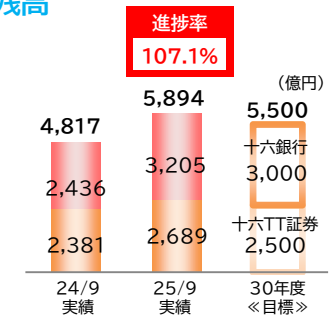
- 2025年9月時点において、総額7,850億円（うち環境分野(※2)2,967億円）のサステナブルファイナンスを実行
- 「じゅうろくポジティブインパクトファイナンス」など、取引先のサステナブル経営の実現に資する融資商品の取扱いに注力
- 十六リースでは「脱炭素」「低炭素」などのSDGsリースの取扱いが伸長



※1　持続可能な社会の実現に資するSDGs・ESGへの取組みに向けた投融資等
※2　環境負荷を軽減する取組みに向けた投融資等

サステナビリティKPI　グループ預り資産残高

- 2025年9月時点のグループ預り資産残高は5,894億円となり、2030年度目標の5,500億円を前倒しで突破
- 十六銀行で、2024年11月より販売開始した「十六銀行ファンドラップ」も順調に推移
- 預り資産残高の増加に伴い、信託報酬などのストック収益も増加



十六銀行：投資信託、ファンドラップ
十六TT証券：株式、債券、投資信託、ファンドラップなど

【NOBUNAGAキャピタルビレッジ】地域VC・CVC投資

- 地域における将来の担い手を応援するとともに事業共創・協業を行うことで、地域に新しい価値やサービスを提案
- 地域経済・金融にシナジーのある企業や、事業共創可能な企業へ投資を加速

投資件数（2021年4月～2025年9月の累計）

地域VC 22件 ＋ CVC 33件 ＝ 投資合計 55件

【NOBUNAGAサクセション】経営承継支援

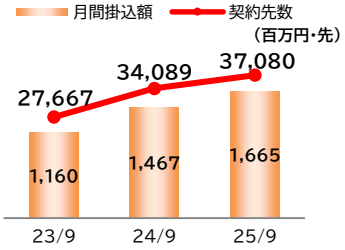
- 設立3期目となり、グループ内連携が活性化し、相談件数・アドバイザリー契約は順調に増加
- 1社でも多くの地域企業へ経営承継支援を実現できるよう取組み

相談件数	1,582 件
うち、アドバイザリー契約	108 件

（2025年9月末までの累計値）

資産形成支援

- お客さまの安定的な資産形成のため、「長期・積立・分散」投資に最適な投信積立の拡大に注力
- 投信積立の月間掛込額、契約先数は堅調に増加



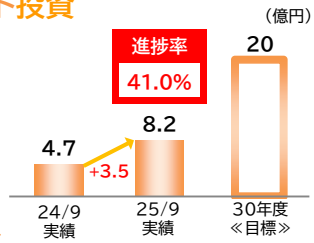
マテリアリティ　～地域社会の持続的発展～

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

- カンダまちおこしは、企業版ふるさと納税マッチングサービス「CoLoRs（カラーズ）」「ITEMs（アイテムズ）」の寄附総額が4億4,000万円を超えました。
- 金融リテラシー教育の普及に向け、金融教育メニュー「じゅうろくMONEY COLLEGE」を継続開催し、受講者数は12,000名を超えました。

サステナビリティKPI　ソーシャルインパクト投資

- カンダまちおこしではローカル・クラウドファンディング“OCOS” の取扱数増加や、企業版ふるさと納税マッチング支援における提携自治体の増加などにより、投資額は順調に伸長



≪ 企業版ふるさと納税マッチングサービス ≫

金銭寄附　CoLoRs（カラーズ）

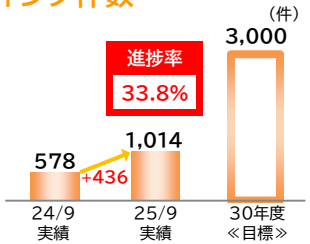
提携自治体	54自治体
寄附件数	222件
寄附総額	3億8,597万円

物品寄附　ITEMs（アイテムズ）

提携自治体	36自治体
寄附件数	15件
寄附総額	6,038万円

サステナビリティKPI　DX支援コンサルティング件数

- 十六電算デジタルサービスでは、グループ各社からの案件紹介や外部連携により、2025年9月期は237件の案件を受注
- 協力企業との連携も積極的に行い、地域企業のデジタル化支援を一気通貫で行える体制を構築



金融リテラシー教育

- 金融リテラシーに関する体系的な金融教育メニュー「じゅうろくMONEY COLLEGE」は2023年４月からの累計受講者数が12,000名超

名称	開催回数	受講者数
じゅうろくMONEY COLLEGE	累計 97回	累計 12,095名
のぶながマネースタディ	累計 19回	累計 730名

- 地元の高校生からのアドバイスをもとに自社で制作した小学校高学年向け金融ボードゲーム「のぶながマネースタディ」活用し、楽しみながら金融やふるさとについて学ぶ場を継続して提供
- 十六カードでは、若年層がクレジットカードの正しい使い方などを楽しく学べるよう、株式会社any styleと協力し、「VTuber」を活用した教育動画プロジェクトを展開



取引先企業の人材不足に対する取組み

- 十六総合研究所では2025年5月に地域企業の人材不足解消への貢献を目的として、「合同企業説明会 in 愛知産業大学」を開催
- 当社グループの取引先企業20社が参加し、愛知産業大学の学生に自社の魅力をPRする場を提供

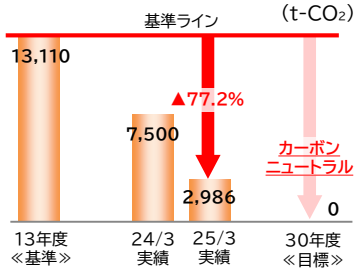


マテリアリティ　～環境保全と気候変動対策～

◆ 2025年3月期はGHG排出量は、2013年度比で77.2%削減し、2030年度のカーボンニュートラル達成に向け順調に進捗しています。
◆ 2025年7月にはTNFD提言に基づき事業活動と自然資本への依存と影響、および当社営業拠点と自然との接点についての分析を初開示しました。

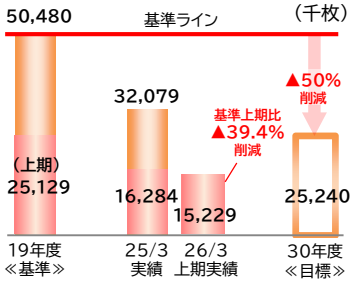
サステナビリティKPI　GHG排出量（2013年度比）

- 2025年3月時点のGHG排出量（Scope1, 2）は、基準とする2013年度比で77.2%削減
- 既に再生可能エネルギー由来の電力を導入済みの岐阜県店舗や事務センターなどに加え、2025年7月には愛知県店舗にも導入を拡大
- この結果、当社自社契約電力の再生可能エネルギー化を実現



サステナビリティKPI　紙使用量（2019年度比）

- 2025年9月期の紙使用量は、基準となる2019年度上期比で39.4%の削減と順調に推移
- 営業店単位・個人単位で紙使用データの把握を開始しており、更なる削減に取組む



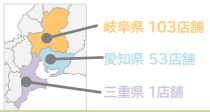
TNFD提言に基づく開示

- 2025年7月には、TNFD提言に基づき、事業活動と自然資本への依存と影響、および当社の営業拠点と自然との接点についての分析を初開示
- 2025年9月には本提言の採用者「TNFD Adopter」※に登録

※ TNFD提言に基づく開示を行う意向をTNFDのウェブサイトで登録した企業

≪自社拠点と自然との接点≫

営業拠点データ
十六銀行の東海地区にある営業拠点の位置データを収集し、地図上にマッピング

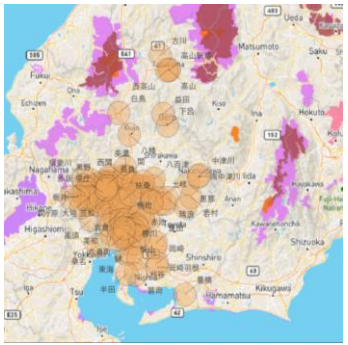


重要地域データ
生物多様性重要地域の位置データを収集し、地図上にマッピング　評価ツール：IBAT

生物多様性重要地域
● ：絶滅危惧種の生息地
● ：重要鳥類生息地

保護地域
● ：厳正保護地域
● ：厳正保護地域（限定的な利用可）
● ：国立公園

拠点を調査
営業拠点と生物多様性重要地域との接点を調査
【評価結果】
生物多様性重要地域内の営業拠点：該当なし
※ 一部の拠点は直径20㎞圏内に立地している



サーキュラーエコノミーの取組み

- 2025年9月には自社で使用した古紙を原資に、再生紙を製造できる小型製紙装置「レコティオ」を導入
- 再生紙生産能力は年間50万4千枚あり、社内で再利用を開始



画像：株式会社FOVAテック提供

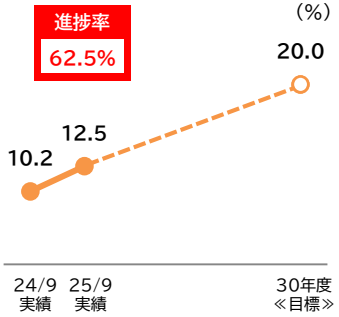
マテリアリティ　～多様な人材の活躍推進～

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

◆ 2025年9月の女性管理職比率は、前年同期比2.3ポイント上昇し、12.5%となりました。
◆ ワークライフバランスを促進し、2025年3月期の有給休暇取得率は59.6%となりました。

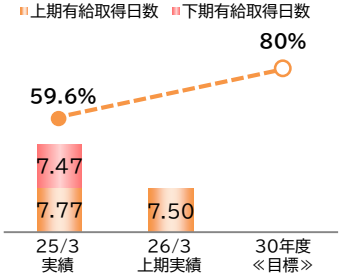
サステナビリティKPI 女性管理職比率

- 女性の管理職登用に向けた取組みを積極的に行い、2025年9月における女性管理職比率は62.5%に向上
- キャリア意識の向上やスキル面でのフォロー、リスキリング機会の充実などを目的とした研修制度も拡充
- リスキリング支援などにより、後方事務からFAや企画業務の担当者が増加し、多くの女性がコア人材として活躍



サステナビリティKPI 有給休暇取得率

- 2025年9月時点は有給休暇取得日数は7.5日となり、2026年3月に60%以上を目指すなか順調に推移
- 半日年次有給休暇の活用啓蒙や休暇取得がしやすい職場づくりにより、ワークライフバランスを促進
- 男性社員の育児関連休暇7日以上の取得率は2025年3月期は95.4%



(25年3月期より連続休暇(4日or5日)含め算出)

人的リソースの活用

- 社員が幅広い事業領域でキャリアチャレンジできるよう、社内公募制度によりグループ会社や異業種企業へ人材を配置
- 2025年3月期は86名からの応募があり、9名を希望職務に配置し、自律的なキャリア選択を支援

＜キャリアチャレンジ制度＞

	応募職務	応募者数	採用数
2025年3月期	バンキングアプリ関連業務	13名	0名
	DX推進業務	19名	1名
	基幹システム開発業務	7名	2名
	サステナビリティ関連業務	7名	1名
	中小企業支援業務(外部機関)	15名	-
	海外駐在員業務	7名	2名
	マーケット業務	9名	1名
	ソリューション業務(十六リース)	5名	1名
	経営承継(M&A)支援業務(NOBUNAGAサクセション)	4名	1名

IT・DX人材の育成

- 専門性を持った人材の育成に取り組むなか、2025年3月時点でIT・DX人材は238名となり、2031年3月には300名を目指す
- 社員の積極的なチャレンジを後押しするため、自己啓発資格取得奨励金制度を設定

IT・DX人材 ※
238名

＜自己啓発資格取得奨励金制度(一部抜粋)＞

	主な対象資格	奨励金
	情報処理技術者試験	
上位デジタル資格・試験	情報処理安全確保支援士	150,000円
	高度試験(各試験合格毎)	100,000円
	応用情報技術者試験(AP)	50,000円
	基本情報技術者試験	20,000円
	情報セキュリティマネジメント試験	20,000円
	ITパスポート試験	10,000円

※IT・DX人材(上位デジタル資格・試験合格者、ITデジタル関連業務経験者(6か月以上)

新卒採用

- 2025年度はUターン者や理系出身者など多様な新入社員150名が入社
- 2026年度内定者は157名

	2023年度	2024年度	2025年度
新卒採用者数	108名	126名	150名
Uターン比率	21%	23%	34%
新卒採用者のうち理系人材	7名	6名	13名

マテリアリティ　～ガバナンスの高度化～

◆ 2025年3月期は「危機発生時における初動対応訓練」を4回実施しました。
◆ 「投資家との対話」については新規の投資家を含め34回の対話を実施し、内容の充実に取組みました。

サステナビリティKPI 危機発生時における初動対応訓練の実施

- 年2回以上の目標に対し、2025年9月期時点で4回（進捗率：200%）の初動対応訓練を実施
- サイバー攻撃演習や風水害被害を想定したBCP訓練により業務継続体制を構築

≪ サイバー攻撃演習　「金融ISAC FIRE 2025」≫

- サイバーセキュリティ事案の未然防止や被害拡大防止を目的に年2回の頻度で実施
- 担当役員、グループ会社社員、外部ベンダーなど約50名が参加し、多様な攻撃手法に対応を演習



サステナビリティKPI 投資家との対話

- 年10回以上の目標に対し、2025年9月期は34回の対話を実施し、積極的な対話と内容の充実に向けた取組みを強化

テーマ	
経営戦略等	22 回
議決権行使	10 回
政策投資株式	2 回

種類	当社対応者	開催回数
1on1ミーティング	社長・常務執行役員・グループ企画統括部担当部長	7 回
	グループ企画統括部担当部長	27 回

第三者関与による内部監査体制高度化の評価

- 内部監査体制の高度化に向けて、第三者関与による評価を実施

【ご参考】当社取締役のスキルマトリクス（取締役の主なスキル・経験等）

	氏名	現在の当社における地位等	企業経営	金融	財務・会計	法務・リスク管理	人事	地方創生	ESG・サステナビリティ
監査等委員でない取締役	村瀬 幸雄	取締役会長（代表取締役）	●	●	●	●	●	●	
	池田 直樹	取締役社長（代表取締役）	●	●	●	●	●		●
	石黒 明秀	取締役副社長	●	●	●		●		
	白木 幸泰	取締役 専務執行役員	●	●				●	●
	塩崎 智子	取締役 執行役員	●	●				●	●
	伊藤 聡子	取締役（社外）						●	●
	上田 泰史	取締役（社外）	●	●		●			
監査等委員である取締役	山下 明人	取締役	●	●	●				
	石原 真二	取締役（社外）				●	●		
	柘植 里恵	取締役（社外）			●				●


ポケットに
いつも銀行を。
じゅうろくアプリ
New!
16FG
ベんリッス!
じゅうろくアプリス

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

2025年度 中間決算説明会＜資料編＞

[2025年9月期]

2025年11月27日

東証プライム・名証プレミア（7380）

目次

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

地域経済の現状

岐阜県・愛知県の経済環境	資料４

経営指標等

収支概要/経営指標（十六FG連結）	資料６
グループ会社の状況	資料７
収支概要/経営指標（十六銀行単体）	資料８
預金等残高（末残）	資料９
貸出金残高（末残）①	資料１０
貸出金残高（末残）②	資料１１
業種別貸出金残高	資料１２
個人預り資産	資料１３
有価証券	資料１４
金利の状況①	資料１５
金利の状況②	資料１６
統合リスク管理の状況	資料１７
金融再生法開示債権残高/保全状況	資料１８
格付遷移の状況（先数ベース）	資料１９
格付遷移の状況（残高ベース）	資料２０
店舗ネットワーク（2025年11月15日現在）	資料２１

地域経済の現状

岐阜県・愛知県の経済環境

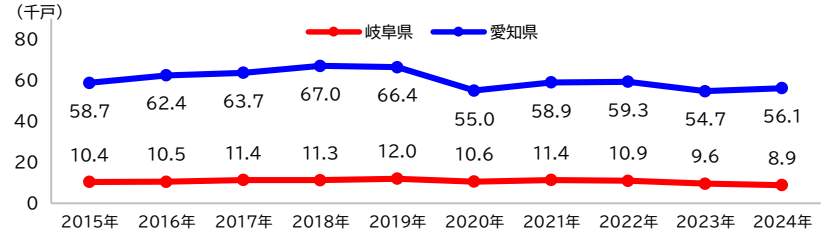
人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

■ 岐阜県・愛知県の概要

	時点	単位	岐阜県	愛知県
面積	2025年7月	㎢	10,621	5,173
人口(推計)	2025年9月	千人	1,897	7,453
県内総生産	2022年度	億円	82,251	430,831
新設着工住宅戸数	2024年	戸	8,887	56,119
月間有効求人倍率	2025年9月	倍	1.43	1.25

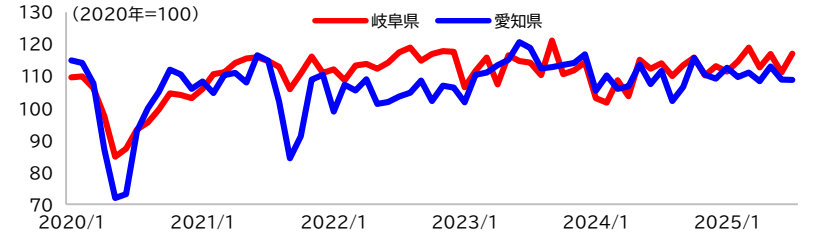
■ 住宅着工戸数

(国土交通省のデータを基に当社作成)



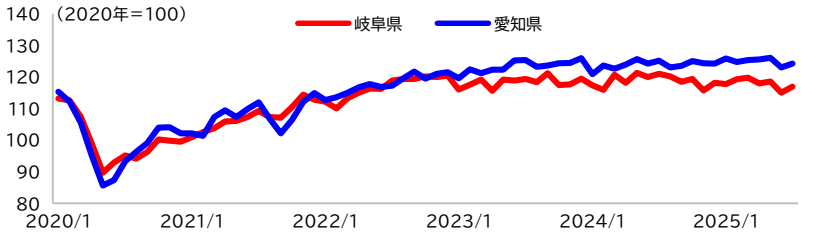
■ 鉱工業生産指数(季節調整済)

(岐阜県、愛知県のデータを基に当社作成)



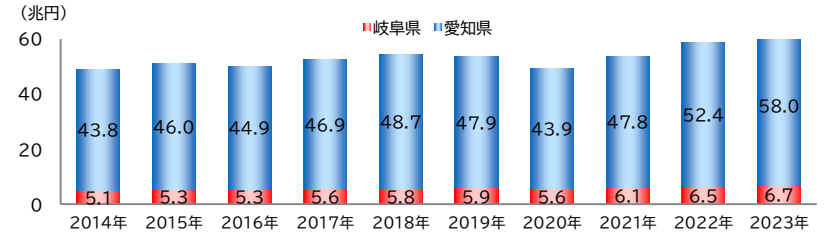
■ 景気動向指数(CI一致指数)

(岐阜県、愛知県のデータを基に当社作成)



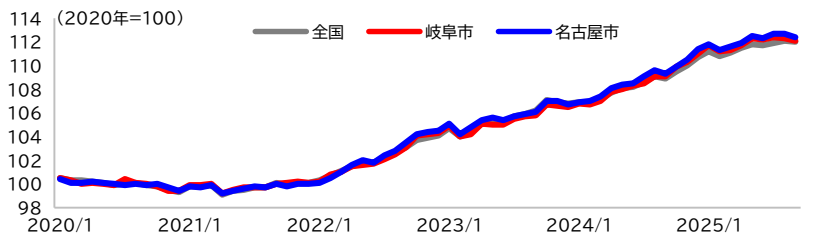
■ 製造品出荷額等推移

(経済産業省のデータを基に当社作成)



■ 消費者物価指数

(総務省統計局、岐阜県、愛知県のデータを基に当社作成)



経営指標等

収支概要/経営指標（十六FG連結）

十六FG連結

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

	単位	2021/3	2021/3 中間期	2022/3	2022/3 中間期	2023/3	2023/3 中間期	2024/3	2024/3 中間期	2025/3	2025/3 中間期	2026/3 中間期	前年同期比
連結業務粗利益	億円	713	359	674	382	668	355	590	307	612	357	307	△ 50
連結コア業務粗利益	億円	712	345	782	378	745	403	733	364	768	379	417	38
資金利益	億円	505	252	543	266	511	266	528	264	544	273	301	28
役務取引等利益	億円	155	72	171	84	187	92	185	93	175	83	95	12
経費	億円	474	240	460	231	439	220	441	222	447	221	235	14
連結実質業務純益	億円	239	118	213	150	229	134	149	84	165	135	72	△ 63
連結コア業務純益	億円	238	104	321	146	306	182	292	141	321	158	181	23
経常利益	億円	246	118	267	150	272	155	279	140	312	159	168	9
親会社株主に帰属する当期純利益	億円	147	75	171	103	186	103	193	95	208	103	114	11
与信関係費用	億円	42	28	28	21	16	5	9	8	21	24	5	△ 19
連結自己資本比率（国内基準）	%	9.93	9.65	10.52	9.87	10.54	10.67	10.81	10.72	11.23	10.87	11.53	0.66
連結ＲＯＥ ※当期または中間純利益ベース	%	3.98	4.16	4.36	5.18	4.73	5.29	4.61	4.75	4.81	4.75	5.22	0.47
連結修正ＯＨＲ	%	66.51	69.72	58.87	61.20	58.90	54.76	60.20	61.06	58.17	58.33	56.48	△ 1.85

※ 当社は2021年10月1日設立のため、十六FG連結の2022年3月期中間期以前の計数は、参考として十六銀行を親会社とする十六銀行連結決算の計数を記載しています。

グループ会社の状況

十六FG連結

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

■ グループ会社の業績（十六銀行以外）

（百万円）

	十六総合研究所		十六TT証券		十六カード		十六リース		十六電算デジタルサービス		NOBUNAGAサクセション	
	25/9	前年同期比	25/9	前年同期比	25/9	前年同期比	25/9	前年同期比	25/9	前年同期比	25/9	前年同期比
コア業務粗利益	137	△ 17	1,359	△ 230	1,085	17	1,212	12	320	13	641	530
経費	137	△ 10	959	△ 30	882	67	743	△ 51	308	△ 13	216	99
経常利益	0	△ 7	401	△ 208	157	△ 14	452	252	10	25	421	430
中間純利益	△ 0	△ 4	272	△ 145	109	△ 5	319	174	9	20	279	288

（百万円）

	NOBUNAGAキャピタルビレッジ		カンダまちおこし		十六ビジネスサービス		十六信用保証	
	25/9	前年同期比	25/9	前年同期比	25/9	前年同期比	25/9	前年同期比
コア業務粗利益	55	29	27	12	199	△ 2	1,266	△ 158
経費	35	7	36	△ 4	193	7	358	△ 45
経常利益	20	22	△ 9	26	6	△ 8	717	△ 41
中間純利益	13	15	△ 7	26	4	△ 5	504	△ 24

	連結子会社の合計（10社・十六銀行以外）	
	25/9	前年同期比
コア業務粗純益	6,305	205
経費	3,871	27
経常利益	2,177	468
中間純利益	1,504	333
連結決算に寄与した中間純利益	1,279	267

収支概要/経営指標(十六銀行単体)

十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

	単位	2021/3	中間期	2022/3	中間期	2023/3	中間期	2024/3	中間期	2025/3	中間期	2026/3 中間期	前年同期比
業務粗利益	億円	623	318	575	332	579	306	499	259	509	305	254	△ 51
コア業務粗利益	億円	622	304	684	329	657	354	642	317	665	327	363	36
資金利益	億円	508	255	545	268	518	265	540	265	554	276	303	27
役務取引等利益	億円	98	45	111	55	126	62	125	62	115	53	60	7
経費	億円	407	207	394	197	371	187	373	188	381	188	203	15
実質業務純益	億円	215	111	180	135	208	119	125	71	128	116	50	△ 66
コア業務純益	億円	215	97	289	131	285	167	268	128	284	138	160	22
経常利益	億円	225	112	245	138	255	142	260	129	279	146	149	3
当期純利益	億円	141	75	173	100	179	95	187	89	209	98	104	6
与信関係費用	億円	41	27	25	19	14	5	5	7	10	16	2	△ 14
自己資本比率 (国内基準)	%	9.35	9.05	9.34	9.28	9.35	9.46	9.67	9.55	10.02	9.69	10.32	0.63
ＲＯＥ ※当期または中間純利益ベース	%	4.03	4.40	4.83	5.36	5.17	5.59	5.08	5.02	5.47	5.09	5.43	0.34
修正ＯＨＲ	%	65.38	68.04	57.70	59.90	56.52	52.75	58.21	59.34	57.28	57.64	56.00	△ 1.64
預金等(平残)	億円	59,698	59,022	62,066	62,086	63,002	63,253	63,508	63,568	64,139	64,386	64,193	△ 193
貸出金(平残)	億円	44,464	44,087	45,168	45,109	46,056	45,592	47,581	47,287	49,275	48,627	50,127	1,500

預金等残高（末残）

十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

■ 人格別残高の推移

（億円）

	2021/3	2021/3 中間期	2022/3	2022/3 中間期	2023/3	2023/3 中間期	2024/3	2024/3 中間期	2025/3	2025/3 中間期	2026/3 中間期	前年同期比
預金等残高	61,378	60,045	62,787	62,314	63,143	62,858	64,403	63,646	64,068	64,505	63,694	△ 811
個 人	41,380	40,242	42,853	42,074	43,611	43,410	44,052	43,896	44,071	44,089	43,870	△ 219
法 人	17,363	16,791	17,346	17,237	17,249	16,979	17,885	17,190	17,722	18,102	17,323	△ 779
公 共	2,337	2,708	2,324	2,663	2,029	2,127	2,204	2,307	2,060	2,054	2,220	166
金 融	296	302	263	338	252	341	260	251	213	258	280	22

■ 地域別残高の推移

（億円）

	2021/3	2021/3 中間期	2022/3	2022/3 中間期	2023/3	2023/3 中間期	2024/3	2024/3 中間期	2025/3	2025/3 中間期	2026/3 中間期	前年同期比
預金等残高	61,378	60,045	62,787	62,314	63,143	62,858	64,403	63,646	64,068	64,505	63,694	△ 811
岐阜県	44,850	43,785	46,054	45,609	46,311	46,090	47,002	46,445	46,728	47,294	46,592	△ 702
愛知県	16,190	15,942	16,387	16,372	16,512	16,471	17,030	16,826	16,964	16,828	16,753	△ 75
三重県	104	105	105	104	102	108	104	103	102	105	98	△ 7
東京・大阪	233	211	239	227	215	188	265	270	273	277	250	△ 27

貸出金残高(末残)①

十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

■ 地域別残高の推移

(億円)

		2021/3	2021/3 中間期	2022/3	2022/3 中間期	2023/3	2023/3 中間期	2024/3	2024/3 中間期	2025/3	2025/3 中間期	2026/3 中間期	前年同期比
総貸出金残高		45,098	44,525	45,504	45,440	47,250	46,006	48,704	47,842	50,327	49,210	50,298	1,088
	岐阜県	16,829	16,741	16,451	16,869	17,348	16,656	18,415	17,816	18,852	18,556	18,672	116
	愛知県	22,801	22,590	23,274	22,978	23,907	23,421	24,686	24,241	26,016	25,144	26,133	989
	三重県	247	254	233	241	230	230	240	237	248	243	254	11
	東京・大阪	5,220	4,938	5,545	5,351	5,764	5,698	5,362	5,547	5,209	5,266	5,238	△ 28

■ 中小企業等貸出残高の推移

(億円)

		2021/3	2021/3 中間期	2022/3	2022/3 中間期	2023/3	2023/3 中間期	2024/3	2024/3 中間期	2025/3	2025/3 中間期	2026/3 中間期	前年同期比
中小企業等貸出残高		34,461	33,940	34,908	34,490	35,940	35,214	36,807	36,144	38,038	37,203	37,880	677
	年率(%)	4.11	2.91	1.29	1.62	2.95	2.09	2.41	2.64	3.34	2.92	1.81	

貸出金残高(末残)②

十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

■ 消費者ローン残高の推移

(億円)

			2021/3	2021/3 中間期	2022/3	2022/3 中間期	2023/3	2023/3 中間期	2024/3	2024/3 中間期	2025/3	2025/3 中間期	2026/3 中間期	前年同期比
消費者ローン残高			18,002	17,492	19,026	18,511	19,728	19,405	20,427	20,021	21,593	21,022	21,968	946
	うち住宅ローン		17,539	17,033	18,556	18,050	19,247	18,930	19,923	19,532	21,074	20,515	21,446	931
		岐阜県	5,215	5,094	5,433	5,325	5,590	5,510	5,694	5,627	5,897	5,819	5,945	126
		愛知県	12,271	11,886	13,068	12,672	13,600	13,365	14,168	13,847	15,110	14,631	15,432	801
		三重県	49	50	53	51	54	53	57	56	64	62	67	5
		その他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0

業種別貸出金残高

十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

■ 業種別貸出金残高の推移

（百万円）

	2023/3	2023/9	2024/3	2024/9	2025/3	2025/9	前年同期比（2024/9比）	前期比（2025/3比）
製造業	612,946	603,965	602,245	580,733	590,547	566,357	△ 14,376	△ 24,190
農業、林業	4,788	4,648	4,924	4,826	4,853	4,750	△ 76	△ 103
漁業	9	8	7	6	7	3	△ 3	△ 4
鉱業、採石業、砂利採取業	6,321	6,264	6,379	3,814	2,883	2,799	△ 1,015	△ 84
建設業	144,305	134,554	144,393	137,754	146,381	138,728	974	△ 7,653
電気・ガス・熱供給・水道業	53,390	52,516	55,240	58,202	58,038	55,069	△ 3,133	△ 2,969
情報通信業	12,703	11,975	11,861	12,338	11,319	9,976	△ 2,362	△ 1,343
運輸業、郵便業	117,160	114,200	106,549	124,185	130,177	133,035	8,850	2,858
卸売業、小売業	285,383	275,045	279,569	280,366	281,657	272,856	△ 7,510	△ 8,801
金融業、保険業	302,943	363,254	395,981	395,355	392,296	406,345	10,990	14,049
不動産業、物品賃貸業	490,298	489,658	507,218	513,886	527,654	522,359	8,473	△ 5,295
学術研究、専門・技術サービス業	22,054	20,064	23,347	21,924	23,591	28,228	6,304	4,637
宿泊業	15,219	14,683	14,638	14,754	14,837	14,548	△ 206	△ 289
飲食業	18,832	17,856	17,120	16,564	16,533	15,612	△ 952	△ 921
生活関連サービス業、娯楽業	34,443	32,215	30,567	29,008	27,617	25,760	△ 3,248	△ 1,857
教育、学習支援業	5,658	5,559	6,106	6,116	6,376	6,336	220	△ 40
医療・福祉	95,938	94,926	95,709	96,054	96,534	94,619	△ 1,435	△ 1,915
その他のサービス	34,719	32,805	31,717	30,960	30,796	29,222	△ 1,738	△ 1,574
地方公共団体	479,308	492,944	480,861	482,754	502,669	498,701	15,947	△ 3,968
その他	1,988,621	2,017,149	2,056,055	2,111,482	2,167,995	2,204,560	93,078	36,565
合計	4,725,038	4,784,288	4,870,486	4,921,081	5,032,760	5,029,863	108,782	△ 2,897

個人預り資産

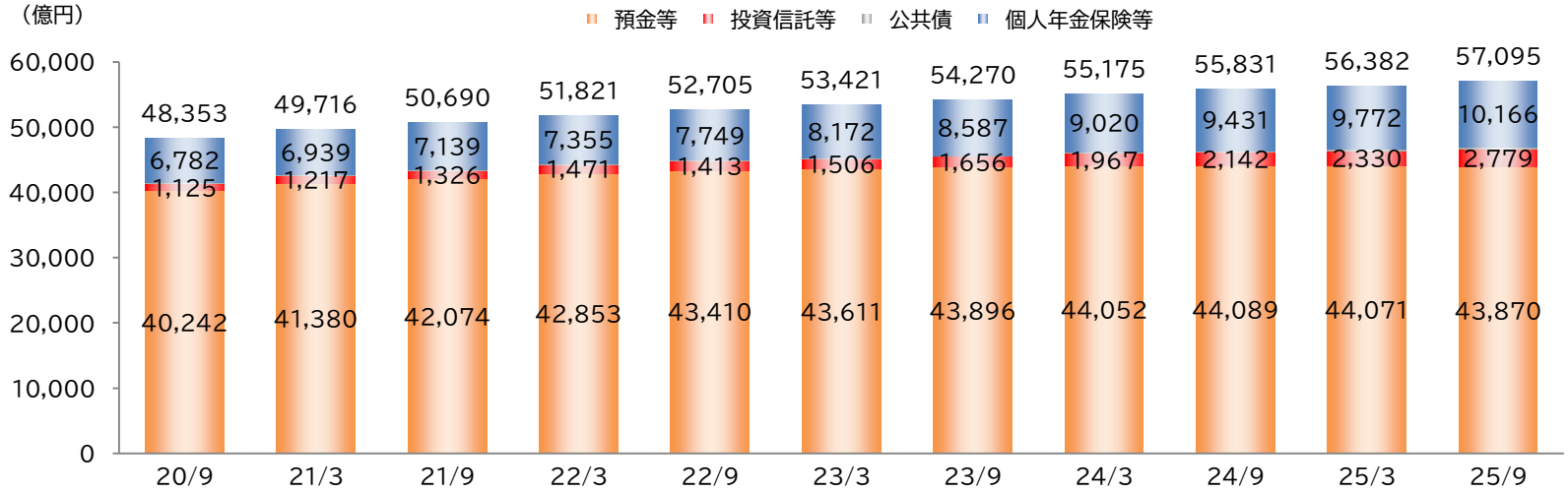
十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

■ 個人預り資産残高の推移

（億円）

	2021/3	中間期	2022/3	中間期	2023/3	中間期	2024/3	中間期	2025/3	中間期	2026/3 中間期	前年同期比
預金等	41,380	40,242	42,853	42,074	43,611	43,410	44,052	43,896	44,071	44,089	43,870	△ 219
投資信託等	1,217	1,125	1,471	1,326	1,506	1,413	1,967	1,656	2,330	2,142	2,779	637
公共債	178	202	140	149	130	132	134	130	207	168	279	111
個人年金保険等	6,939	6,782	7,355	7,139	8,172	7,749	9,020	8,587	9,772	9,431	10,166	735
合計	49,716	48,353	51,821	50,690	53,421	52,705	55,175	54,270	56,382	55,831	57,095	1,264



有価証券

十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

■ 有価証券残高の推移

（億円）

	2021/3	2021/3 中間期	2022/3	2022/3 中間期	2023/3	2023/3 中間期	2024/3	2024/3 中間期	2025/3	2025/3 中間期	2026/3 中間期	前年同期比
有価証券残高	15,721	14,507	14,596	15,845	14,649	14,015	14,729	14,923	13,082	14,031	11,608	△ 2,423
株式	1,608	1,423	1,386	1,646	1,337	1,257	1,855	1,680	1,426	1,523	1,540	17
債券	10,296	9,392	10,272	10,026	10,272	9,993	10,006	9,980	9,604	9,975	8,164	△ 1,811
その他	3,817	3,691	2,936	4,172	3,040	2,764	2,868	3,263	2,051	2,532	1,902	△ 630

■ 有価証券評価損益の推移

（億円）

	2021/3	2021/3 中間期	2022/3	2022/3 中間期	2023/3	2023/3 中間期	2024/3	2024/3 中間期	2025/3	2025/3 中間期	2026/3 中間期	前年同期比
有価証券評価損益	837	759	689	932	403	301	913	545	397	579	756	177
株式	869	670	857	931	782	699	1,323	1,122	893	970	1,127	157
債券	△ 3	24	△ 72	23	△ 168	△ 145	△ 247	△ 293	△ 418	△ 285	△ 322	△ 37
その他	△ 27	64	△ 95	△ 23	△ 211	△ 252	△ 163	△ 283	△ 77	△ 104	△ 48	56

■ 政策投資株式の推移

（億円）

	2021/3	2021/3 中間期	2022/3	2022/3 中間期	2023/3	2023/3 中間期	2024/3	2024/3 中間期	2025/3	2025/3 中間期	2026/3 中間期	前年同期比
政策投資株式（簿価ベース）残高	503	511	478	496	448	463	421	431	295	355	241	△ 114
政策投資株式（時価ベース） ＋みなし保有株式（時価ベース）残高	1,431	1,237	1,412	1,488	1,281	1,229	1,857	1,623	792	1,160	947	△ 213

金利の状況①

十六銀行単体

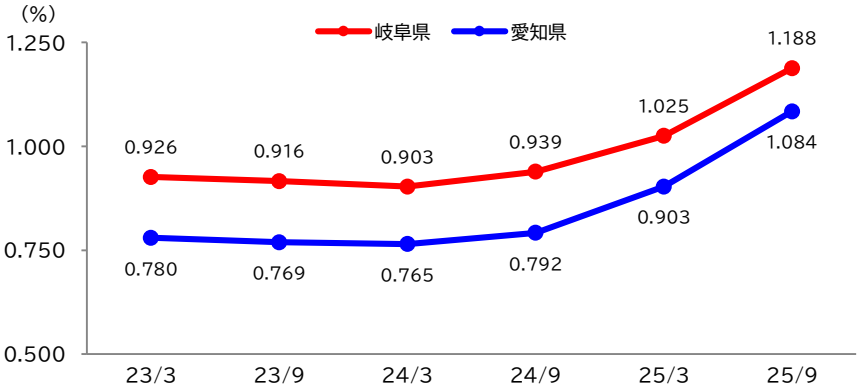
人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

■ 円貨貸出金の構成比（金利別）

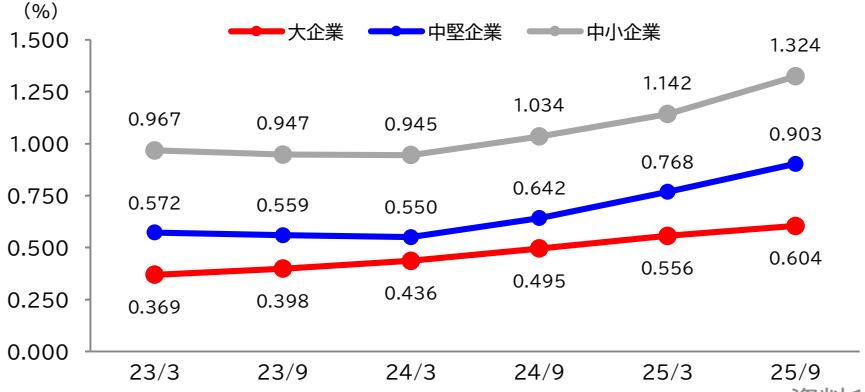
（億円）

			2023/3		2023/9		2024/3		2024/9		2025/3		2025/9		前年同期比
			末残	構成比	末残	構成比	末残	構成比	末残	構成比	末残	構成比	末残	構成比	
変動金利貸出			26,761	56.8%	27,241	57.1%	28,299	58.2%	29,170	59.4%	30,316	60.3%	30,653	61.0%	1,483
	事業性〔公共含〕		12,072	25.6%	12,052	25.3%	12,314	25.3%	12,306	25.0%	12,545	25.0%	12,214	24.3%	△ 92
		（うち、短プラベース）	8,189	17.4%	8,295	17.4%	8,534	17.6%	7,844	16.0%	7,776	15.5%	7,574	15.1%	△ 270
		（うち、市場金利ベース）	3,882	8.2%	3,757	7.9%	3,780	7.8%	4,462	9.1%	4,769	9.5%	4,639	9.2%	177
	個人ローン		14,690	31.2%	15,189	31.8%	15,985	32.9%	16,863	34.3%	17,770	35.4%	18,439	36.7%	1,576
固定金利貸出			20,259	43.0%	20,375	42.7%	20,201	41.6%	19,870	40.4%	19,858	39.5%	19,497	38.8%	△ 373
	事業性		15,220	32.3%	15,543	32.6%	15,759	32.4%	15,711	32.0%	16,035	31.9%	15,967	31.8%	256
	個人ローン		5,039	10.7%	4,832	10.1%	4,442	9.1%	4,158	8.5%	3,822	7.6%	3,529	7.0%	△ 629
その他（総合口座等）			88	0.2%	92	0.2%	90	0.2%	87	0.2%	85	0.2%	81	0.2%	△ 6
合計			47,109	100.0%	47,708	100.0%	48,590	100.0%	49,128	100.0%	50,260	100.0%	50,232	100.0%	1,104

■ 円貨貸出金約定レート（地域別・期末月中）



■ 円貨貸出金約定レート（企業規模別・期末月中）



金利の状況②

十六銀行単体

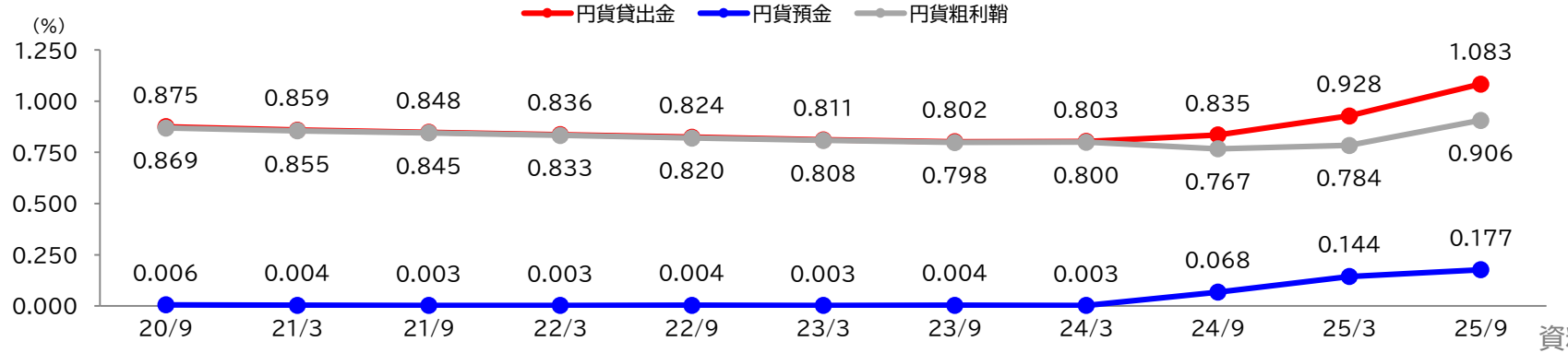
人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

■ 利鞘

（%）

		2021/3	中間期	2022/3	中間期	2023/3	中間期	2024/3	中間期	2025/3	中間期	2026/3 中間期	前年同期比
資金運用利回	（A）	0.82	0.85	0.74	0.82	0.82	0.81	0.89	0.89	0.90	0.87	1.04	0.17
貸出金利回	（B）	0.87	0.87	0.84	0.85	0.82	0.83	0.80	0.80	0.85	0.81	1.02	0.21
有価証券利回		0.87	0.95	0.94	0.96	1.06	1.06	1.39	1.36	1.40	1.41	1.55	0.14
資金調達原価	（C）	0.63	0.66	0.51	0.55	0.53	0.48	0.62	0.63	0.67	0.64	0.79	0.15
預金等原価	（D）	0.68	0.70	0.63	0.63	0.59	0.59	0.59	0.59	0.65	0.60	0.79	0.19
預金等利回		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.02	0.16	0.14
経費率		0.68	0.70	0.63	0.63	0.58	0.58	0.58	0.59	0.59	0.58	0.63	0.05
預貸金利鞘	（B）-（D）	0.19	0.17	0.21	0.22	0.23	0.24	0.21	0.21	0.20	0.21	0.23	0.02
総資金利鞘	（A）-（C）	0.19	0.19	0.23	0.27	0.29	0.33	0.27	0.26	0.23	0.23	0.25	0.02

■ 円貨預貸金粗利鞘（月中約定）の推移

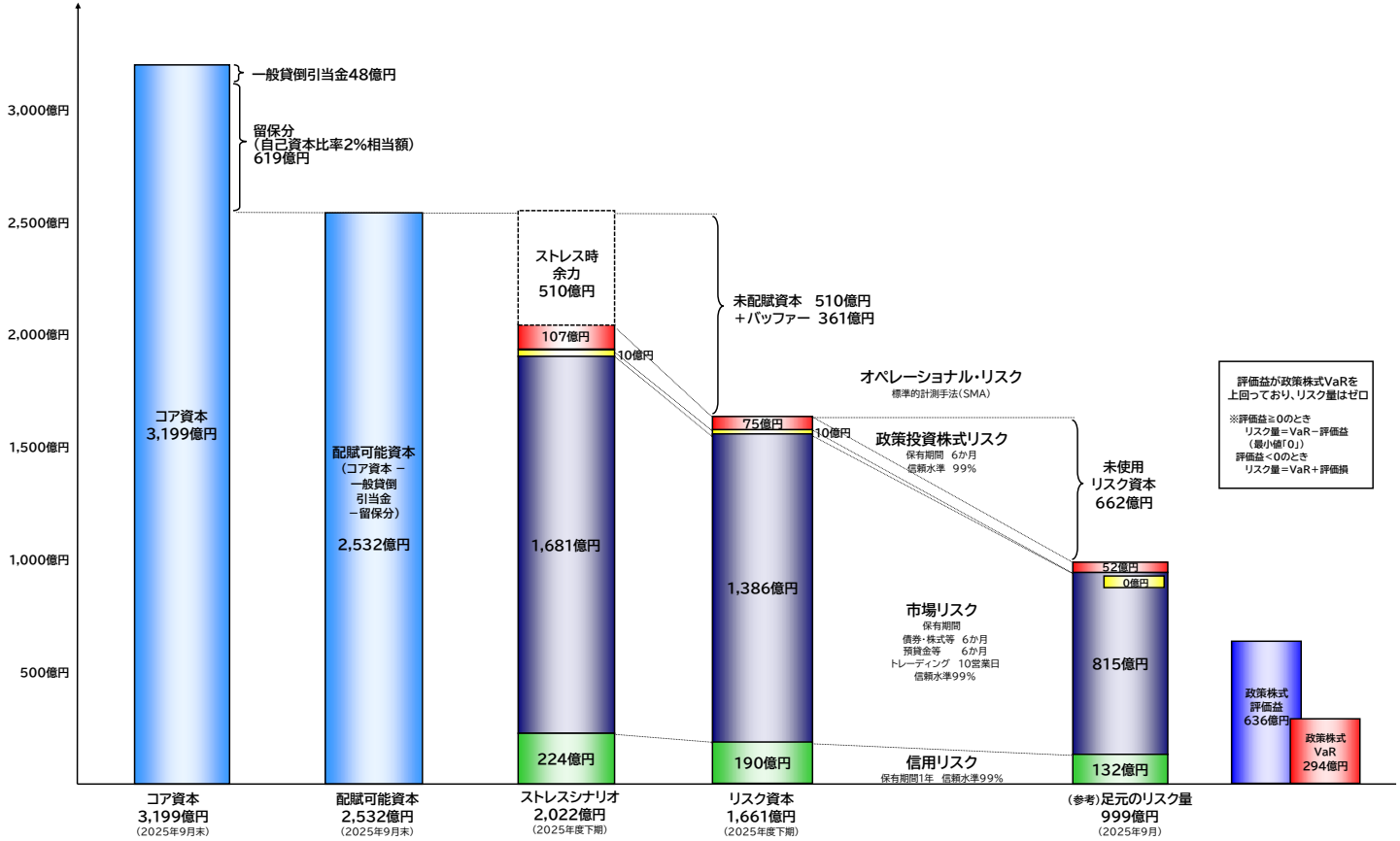


統合リスク管理の状況

十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

■ 統合リスク管理



金融再生法開示債権残高/保全状況

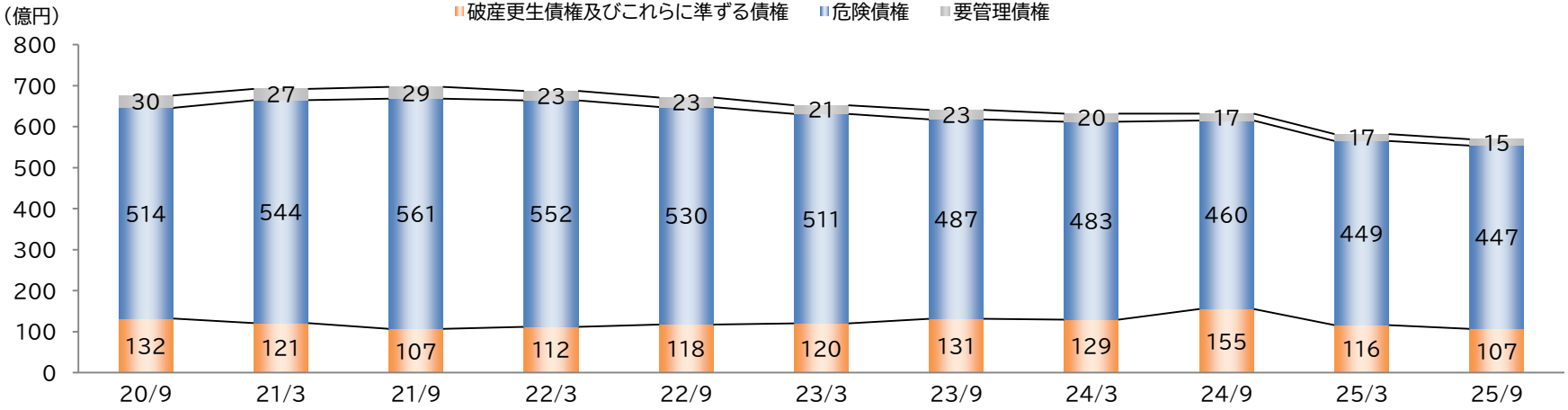
十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ 十六フィナンシャルグループ

■ 不良債権額の推移（金融再生法ベース）

（億円）

	20/9	21/3	21/9	22/3	22/9	23/3	23/9	24/3	24/9	25/3	25/9
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	132	121	107	112	118	120	131	129	155	116	107
危険債権	514	544	561	552	530	511	487	483	460	449	447
要管理債権	30	27	29	23	23	21	23	20	17	17	15
合計	677	693	697	687	671	652	641	632	632	582	569
総与信に占める割合	1.49%	1.51%	1.50%	1.48%	1.43%	1.35%	1.31%	1.27%	1.26%	1.14%	1.11%
開示債権に対するカバー率	86.39%	85.25%	84.00%	83.70%	84.45%	85.58%	86.07%	86.65%	87.46%	87.66%	88.20%



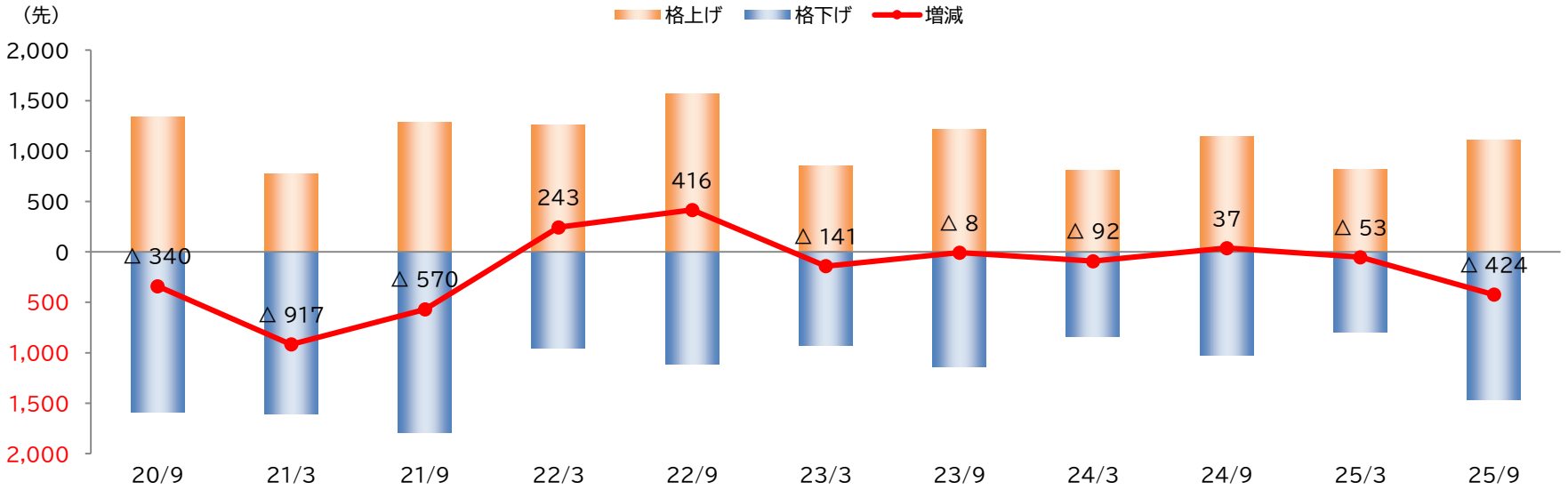
格付け遷移の状況（先数ベース）

十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

（先）

	20/9	21/3	21/9	22/3	22/9	23/3	23/9	24/3	24/9	25/3	25/9
格上げ	1,335	776	1,285	1,262	1,569	850	1,214	814	1,141	815	1,109
格下げ	1,592	1,608	1,788	959	1,113	930	1,140	838	1,025	795	1,463
デフォルト	83	85	67	60	40	61	82	68	79	73	70
増減	△ 340	△ 917	△ 570	243	416	△ 141	△ 8	△ 92	37	△ 53	△ 424



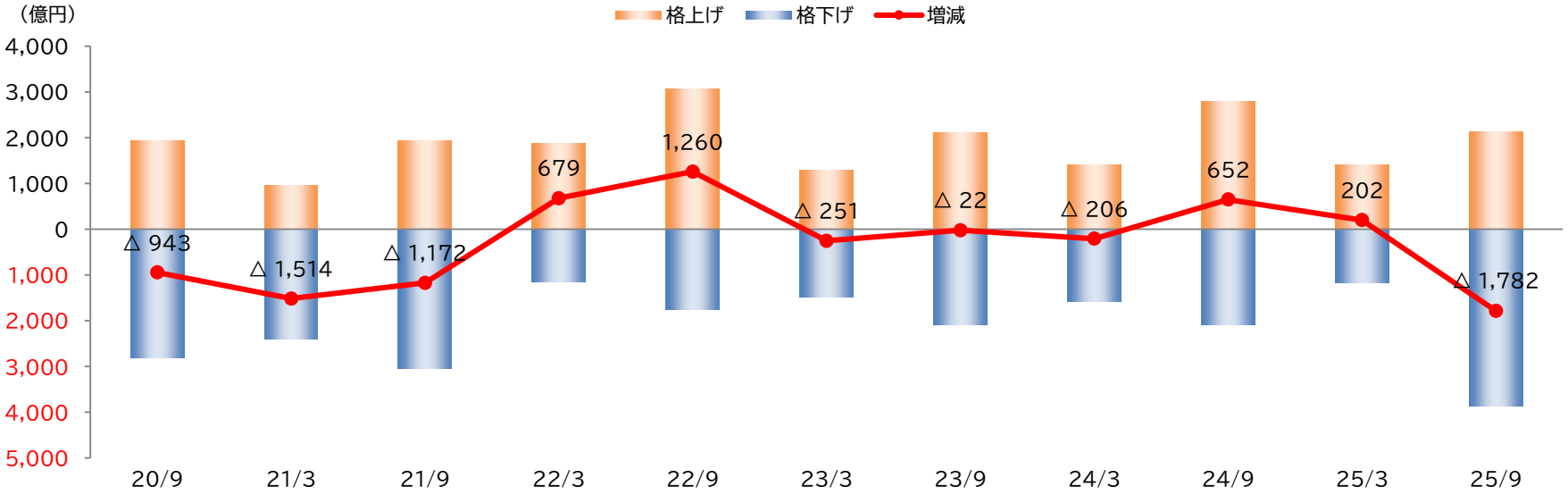
格付け遷移の状況（残高ベース）

十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

（億円）

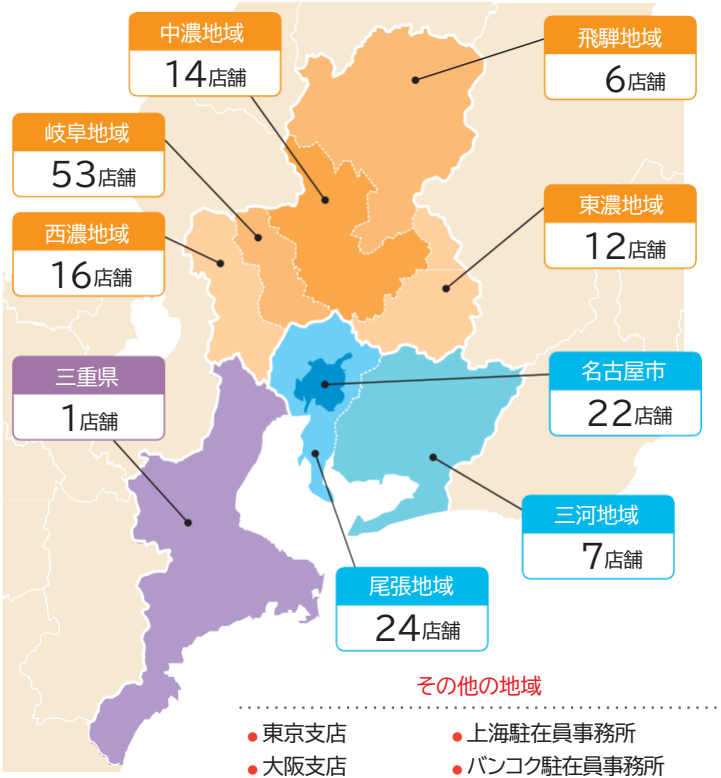
	20/9	21/3	21/9	22/3	22/9	23/3	23/9	24/3	24/9	25/3	25/9
格上げ	1,937	952	1,931	1,876	3,062	1,290	2,114	1,411	2,793	1,414	2,135
格下げ	2,809	2,405	3,055	1,140	1,760	1,491	2,086	1,575	2,078	1,172	3,874
デフォルト	71	61	48	57	42	50	50	42	63	40	43
増減	△ 943	△ 1,514	△ 1,172	679	1,260	△ 251	△ 22	△ 206	652	202	△ 1,782



店舗ネットワーク（2025年11月15日現在）

十六銀行単体

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ



■ 店舗数

	店舗数	（うち出張所）	仮想店舗
岐阜県	101	(10)	3
愛知県	53	(1)	-
三重県	1	-	-
大阪府	1	-	-
東京都	1	-	-
合計	157	(11)	3

■ 岐阜県・愛知県のATM台数

	岐阜県	愛知県	合計
十六銀行	350	147	497
セブン銀行	252	1,311	1,563
イーネット	110	633	743
イオン銀行	110	411	521
ローソン銀行	168	611	779
合計	990	3,113	4,103

◆ 当資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】
十六フィナンシャルグループ　グループ企画統括部
TEL：058－266－2511
FAX：058－262－2531
E-mail：16kouhou@juroku.co.jp